

平成 28 年度大台ヶ原の利用対策に関する調査業務

【報告書】

平成 29 年 3 月

近畿地方環境事務所

株式会社フォーラム K

【目次】

I. はじめに.....	1
1. 業務目的	1
2. 業務内容	1
(1) 大台ヶ原の利用動向に関する分析.....	1
(2) 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施	1
II. 大台ヶ原の利用動向に関する分析	2
1. 大台ヶ原の利用動向	2
(1) 大台ヶ原の利用者数の推移	2
(2) 大台ヶ原の月別利用者数	2
(3) 西大台利用調整地区の認定者数及び入山者数.....	3
(4) 西大台利用調整地区の月別入山者数	3
2. 大台ヶ原の利用状況	4
(1) 大台ヶ原の平日・休日別利用者数.....	4
(2) 西大台利用調整地区の平日休日別入山者数	4
(3) 西大台地区の巡視及び無認定立入者への指導状況	5
(4) 公共交通の利用状況	5
(5) 山上駐車場駐車台数の推移	6
(6) 周辺の混雑状況	6
(7) 山上駐車場の駐車台数と路肩駐車が発生状況との関係	7
III. 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施.....	9
1. 調査概要	9
2. 基本事項	10
(1) 回答者の属性 [SA]	10
(2) 来訪を決めた時期 [SA]	13
(3) 団体ツアー・個人の別 [SA]	14
(4) 行程 [SA・FA]	15
(5) 来訪回数 [SA]	16
3. ビジターセンターのレクチャーについて	17
(1) 長さ [SA]	17
(2) 内容 [SA]	17
(3) 配布冊子 [SA]	18
(4) レクチャーの内容や配布冊子について不満の理由・改善すべき点 [FA]	18
(5) その他ご意見 [FA]	19
4. 西大台利用調整地区制度の認知について	21
(1) 利用調整制度の認知度 [SA]	21
(2) 利用調整制度の詳細に関する認知 [MA]	21
(3) 制度を認知した情報媒体 [MA]	22

5. 西大台利用調整地区の利用について	23
(1) 携帯用トイレブース利用の有無 [SA]	23
(2) 利用時における混雑度の印象 [SA]	26
(3) 混雑対策に対する意見 [SA]	26
(4) 西大台利用調整地区の利用時に期待していたもの及び感想 [FA]	27
(5) 西大台利用調整地区の再訪意志 [SA]	32
6. ガイド利用について	33
(1) ガイド利用の経験の有無 [SA]	33
(2) ガイド利用時に訪問した場所 [SA]	34
(3) ガイド利用時のガイド内容 [MA]	34
(4) ガイドを選んだ経緯 [SA]	35
(5) 希望するガイド [SA]	35
(6) 支払可能なガイド料金 [SA]	36
IV. おわりに.....	37
1. 大台ヶ原の利用動向に関する分析 結果概要.....	37
2. 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施 結果概要	37
3. 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施 来期への提案	38
V. 参考資料.....	39

I. はじめに

1. 業務目的

環境省では、平成 14 年度に大台ヶ原自然再生検討会を設置し、学識経験者、民間団体、関係機関等とともに調査検討を進め、平成 17 年 1 月に大台ヶ原の今後の保全・再生の方向性をとりまとめた「大台ヶ原自然再生推進計画」を策定した。その後、平成 21 年 3 月に策定した第 2 期計画を経て、平成 25 年度末に新たに「大台ヶ原自然再生推進計画 2014（以下「推進計画 2014」という。）」を策定し、吉野熊野国立公園の核心地域の一つである大台ヶ原における自然環境への負荷の軽減及び自然体験学習の提供等を可能にする新しい利用のあり方の確立を目指した目標が設定された。

本業務は、大台ヶ原の利用状況に関する基礎的なデータ等の収集・分析を行い、推進計画 2014 の効果的な推進に資することを目的とする。

2. 業務内容

（1）大台ヶ原の利用動向に関する分析

大台ヶ原における利用に関するデータ（西大台利用調整地区の利用者数データ、正午の山上駐車場入込み車両数データ等）を用いて、大台ヶ原の利用動向に関する分析を行う。

また、西大台については、利用調整地区の制度運用を開始して 10 年目を迎えることから、（2）の意見聴取結果を基に、利用調整による効果や問題点について分析する。

（2）西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施

西大台利用調整地区の利用者を対象に同地区の自然環境や制度運用等に関する意見聴取を実施する。

① 意見聴取用紙の送付及び回収

近畿地方環境事務所作成の意見聴取用紙（以下「個票」という。）を必要部数印刷し、大台ヶ原ビジターセンターへ送付する。

個票の利用者（回答者）への配布は、事前レクチャー実施場所において事前レクチャー実施者が行う。

個票の回収は、大台ヶ原ビジターセンター窓口等に設置している回収箱に利用者（回答者）が直接入れるか若しくは返信用封筒を用いた郵送によるもののいずれかの方法とする。

② 取りまとめ・分析

回収した個票は、項目ごとに取りまとめる。

次に平成 18 年度から実施している当該結果と項目ごとに時系列的に比較し、利用者意識の経年的な変化等を取りまとめる。

また、利用調整地区に関する問題点等が指摘された場合は、その改善の可能性、対処方法を法令、費用対効果、地域における様々な要因と照らし合わせながら検討し、取りまとめる。

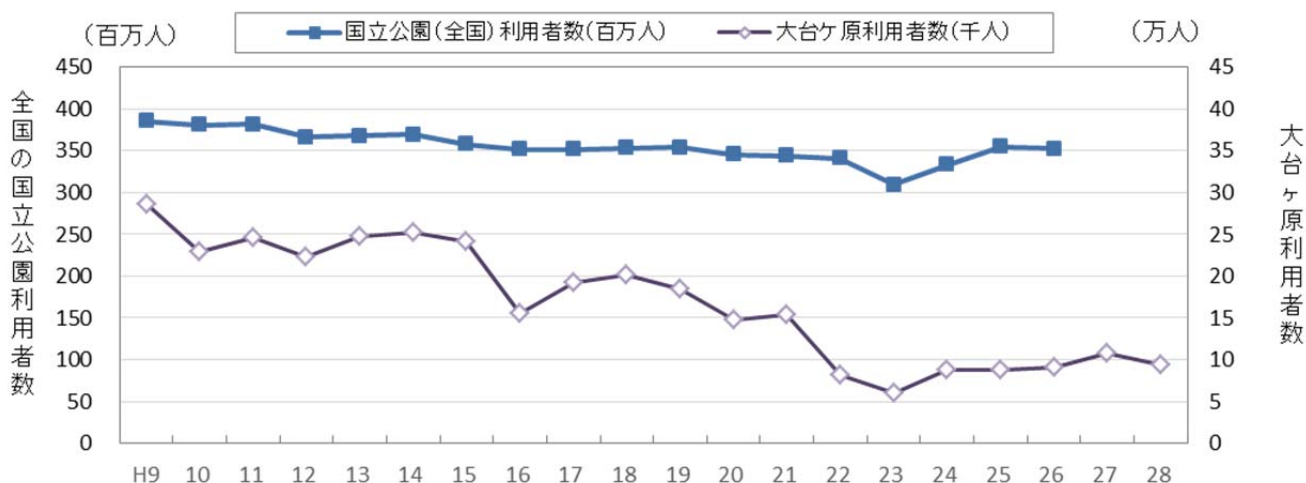
Ⅱ. 大台ヶ原の利用動向に関する分析

1. 大台ヶ原の利用動向

(1) 大台ヶ原の利用者数の推移

- 過去 20 年間の大台ヶ原の利用者数の推移をみると、減少傾向で推移していたが、平成 24 年度から微増に転じた。なお、平成 28 年度は 94,393 人と前年に比べ 12%減少した。これは週末に台風が接近したこと等により、来訪を見合わせた者が多かったことが要因の 1 つと考えられる。

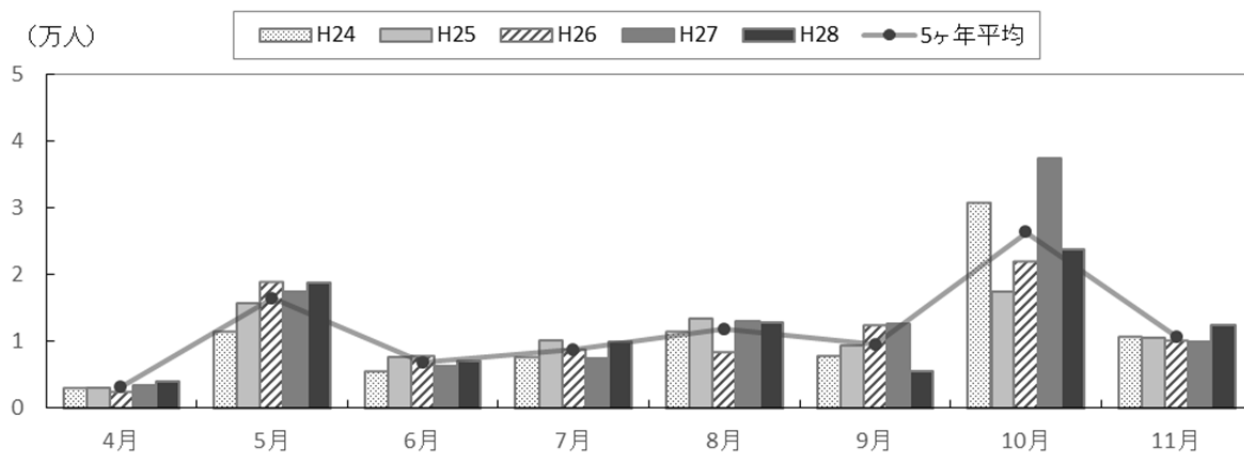
図表 1 全国の国立公園と大台ヶ原の利用者数の推移¹ (20 年間)



(2) 大台ヶ原の月別利用者数

- 平成 28 年の大台ヶ原の月別利用者数は 10 月が最多であった (23,780 人)。
- 過去 5 ヶ年で推移をみると、5 月と 10 月に利用者数はピークとなる傾向が続いている。

図表 2 大台ヶ原の月別利用者数の推移 (H24~28)²



¹ 全国の国立公園の利用者数は、環境省発表の統計「自然公園等利用者数調」に基づく。また大台ヶ原の利用者数については山上駐車場の駐車台数のデータを用いた推計値である。利用者数の推計式は下記のとおりである。

(H5～H21 の利用者数) 推計利用者数＝観光バス台数×25 人＋乗用車台数×3 人×3 回転＋二輪車台数×1.5 人

(H22～H28 の利用者数) 推計利用者数＝観光バス台数×22 人＋乗用車台数×2.2 人×2 回転＋二輪車台数×1.1 人

² 月別利用者数は山上駐車場の駐車台数の日次データ（大台ヶ原ビジターセンター記録）を用いた推計値である。利用者数の推計式は前注記のとおりである。

（３） 西大台利用調整地区の認定者数及び入山者数

- ・平成 28 年の認定者数は 3,541 人、入山者数は 3,243 人。前年度と比較すると、認定者数は増加、入山者数は横ばい。平成 20 年 4 月以降でみると、認定者数、入山者数ともに増加傾向にあった。
- ・月別にみると、認定者数、入山者数ともに、10 月が最も多く、次いで 5 月であった。
- ・前年は 5 月が最多となっていたが、今年度は例年と同様の傾向を示した。

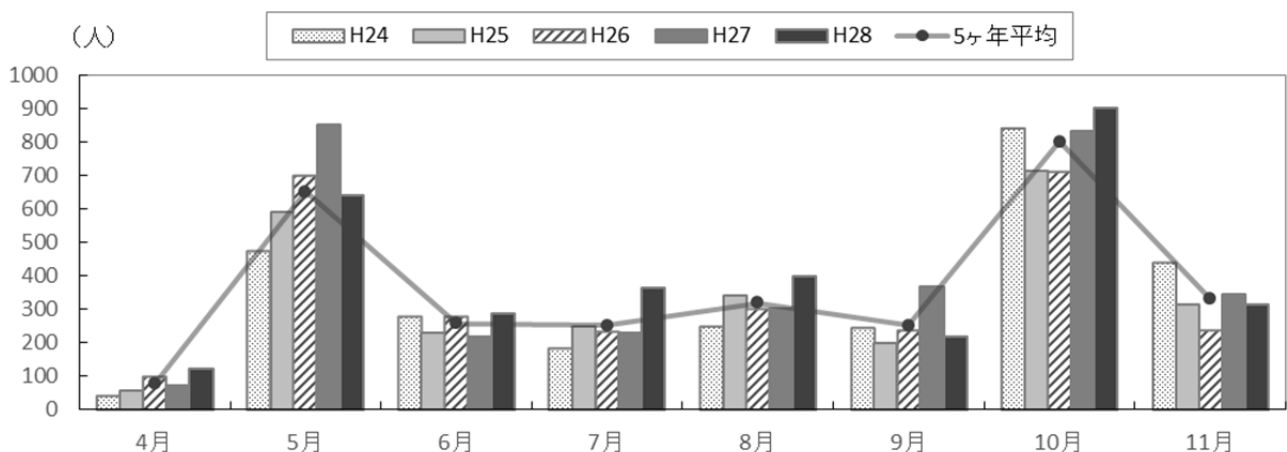
図表 3 西大台利用調整地区の認定者数・入山者数の推移³

月	認定者数（人）									入山者数（人）								
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
4 月	55	51	21	56	42	60	109	74	125	51	43	21	40	42	58	96	72	120
5 月	222	324	260	524	519	636	756	934	696	188	298	203	430	477	591	699	851	639
6 月	174	118	273	249	281	251	309	236	308	166	107	240	183	256	230	278	216	288
7 月	88	86	102	154	198	262	270	289	402	84	74	96	135	183	250	230	230	363
8 月	127	137	153	285	270	370	367	320	417	121	107	152	264	252	340	300	303	400
9 月	85	87	124	129	275	294	262	395	280	70	84	117	54	240	199	234	368	216
10 月	304	332	615	512	903	915	866	870	975	268	286	563	428	839	714	706	834	903
11 月	233	138	160	153	491	366	286	377	337	208	124	143	132	441	315	237	343	314
合計	1,288	1,273	1,708	2,062	2,979	3,154	3,225	3,495	3,541	1,156	1,123	1,535	1,666	2,730	2,697	2,780	3,217	3,243
認定者 に対する 割合 (%)										89.8	88.2	89.9	80.8	91.6	85.5	86.2	92.0	91.6

（４） 西大台利用調整地区の月別入山者数

- ・平成 28 年度の月別入山者数は 10 月（903 人）が最多、次いで 5 月（639 人）であった。
- ・過去 5 ヶ年の推移をみると、大台ヶ原同様、5 月と 10 月にピークとなる傾向が続いている。

図表 4 西大台利用調整地区の月別入山者数の推移



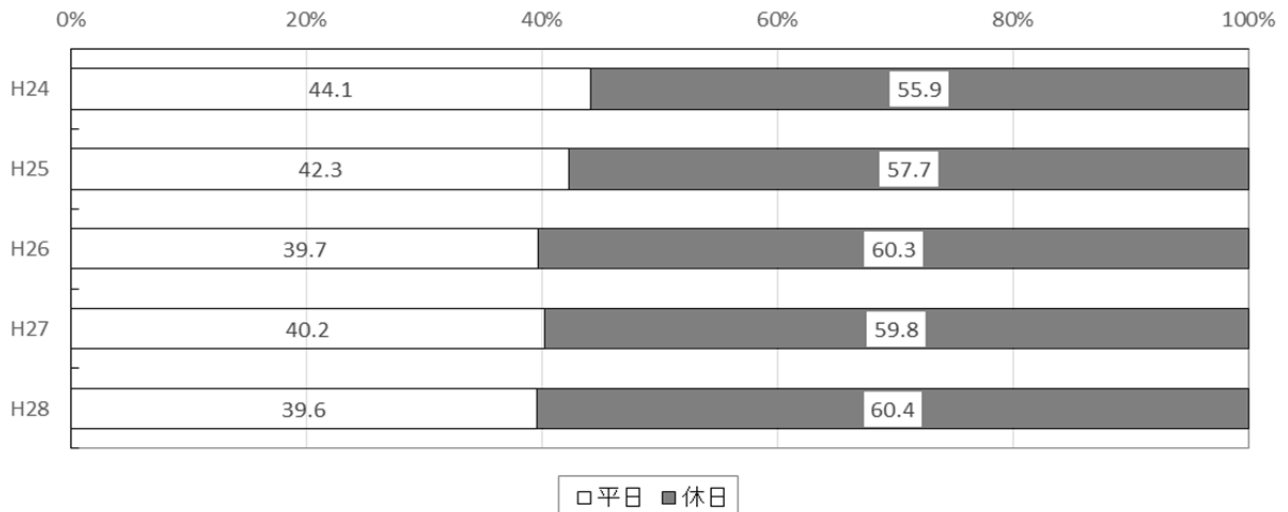
³ データは大台ヶ原ビジターセンターの報告記録に基づく。なお、「認定者数」は認定証を発行した人数（申請済みの人数）を示し、「入山者数」は認定証にレクチャー印を押した人数を示す。

2. 大台ヶ原の利用状況

(1) 大台ヶ原の平日・休日別利用者数

- ・平成 28 年の利用者数の割合は平日が 39.6%、休日が 60.4%であった。
- ・過去 5 年間における、平日・休日別の利用者数の割合は、大きな変化はみられなかった。

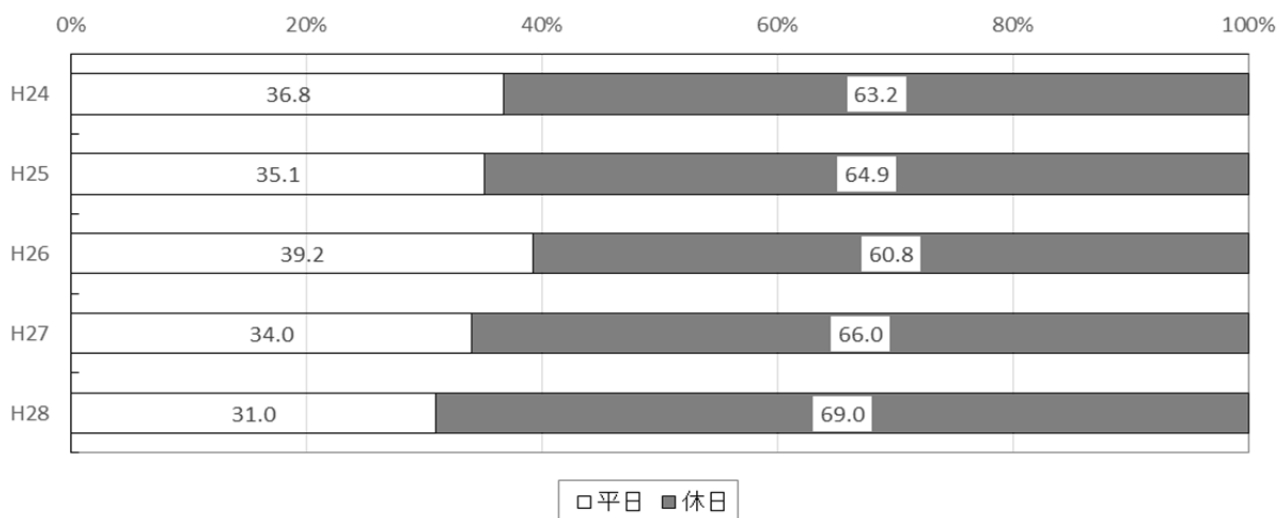
図表 5 大台ヶ原の利用者数の平日・休日別構成割合 (H24~28) ⁴



(2) 西大台利用調整地区の平日休日別入山者数

- ・平成 28 年の入山者数の割合は、平日が 31.0%、休日が 69.0%であった。
- ・平成 26 年から休日の割合に増加傾向がみられた。
- ・大台ヶ原の利用者数と比較すると、西大台利用調整地区の方が休日の割合が高い傾向がみられた。

図表 6 西大台利用調整地区の入山者数の平日・休日別構成割合 (H24~28) ⁵



⁴、⁵ 平日・休日月別の利用者数は山上駐車場の駐車台数の日次データ（大台ヶ原ビジターセンター記録）を用いた推計値である。利用者数の推計式は前注記と同じである。

（３） 西大台地区の巡視及び無認定立入者への指導状況

- ・平成 28 年度の西大台利用調整地区での巡視中における無認定立入者への指導状況は 1 件であった。
- ・平成 21 年頃から指導等の件数は減少傾向が続いており、利用調整地区制度の理解が進んでいることが伺える。

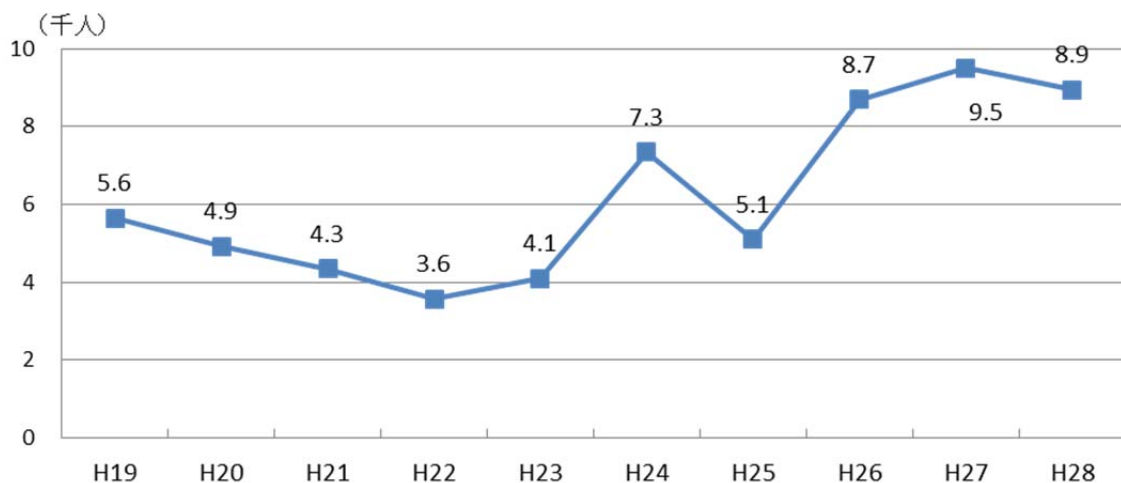
図表 7 無認定立入者への指導の状況

年度	区域内における 無認定立入者への指導	
	件数	人数
H20	19	32
H21	6	10
H22	8	16
H23	6	8
H24	6	8
H25	3	6
H26	2	2
H27	4	7
H28	1	1

（４） 公共交通の利用状況

- ・平成 28 年度の大台ヶ原バスの乗車実績（平成 28 年 4 月 23 日～11 月 23 日、214 日間）は延べ 8,946 名であった。
- ・大台ヶ原への路線バスの乗客数は前年と比較するとやや減少したが、平成 26 年からは横ばいで推移している。

図表 8 路線バス乗車人数の推移⁶

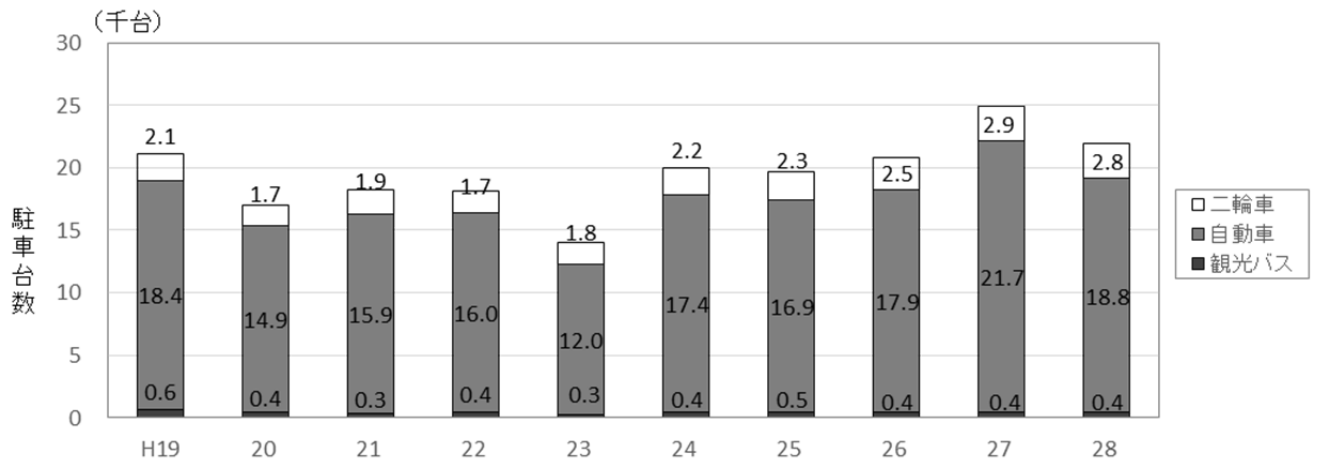


⁶ 奈良交通株式会社吉野営業所・葛城営業所提供の資料（乗車人数）を基に作成した。なお、平成 25 年度は売上金額からの推計値である。

(5) 山上駐車場駐車台数の推移

- ・平成 28 年の山上駐車場の駐車台数は観光バスが 386 台、乗用車が 18,821 台、二輪車が 2,808 台であった。

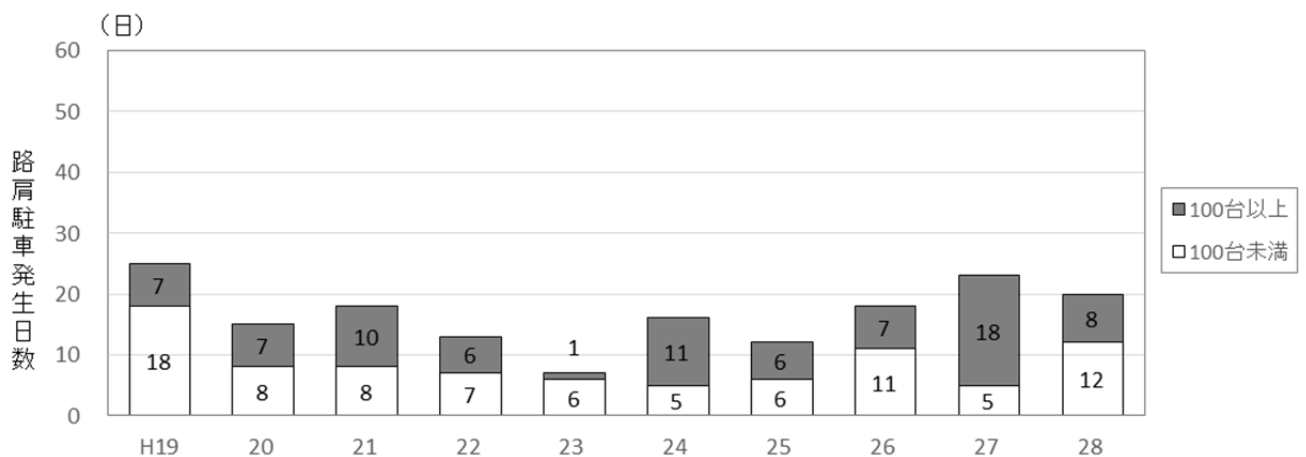
図表 9 正午における駐車台数の推移⁷（車種区別、10 年間）



(6) 周辺の混雑状況

- ・平成 28 年の路肩駐車が発生している日は 20 日間であった。
- ・そのうち、100 台以上の発生日は 8 日間、100 台未満の発生日は 12 日間であった。

図表 10 路肩駐車発生日数の推移（10 年間）

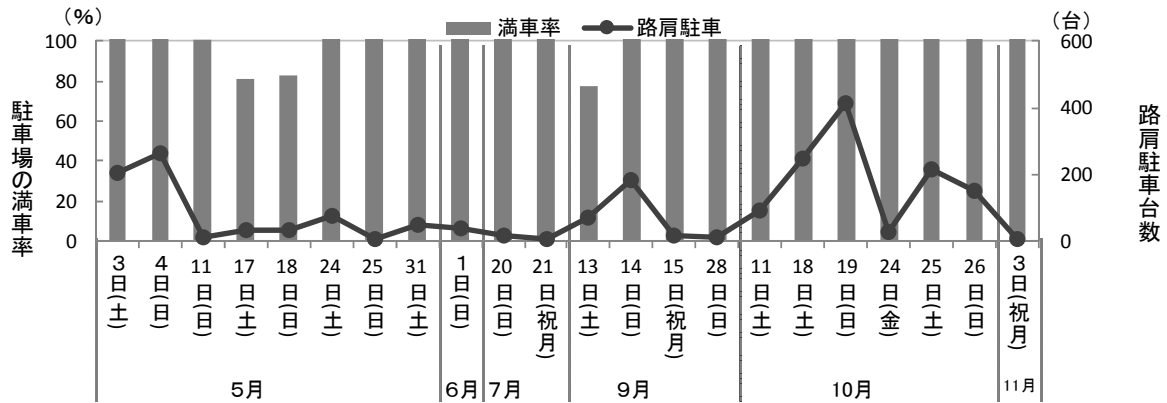


⁷ 大台ヶ原ビジターセンターにて記録されている、正午における自動車の駐車台数を出典としている。

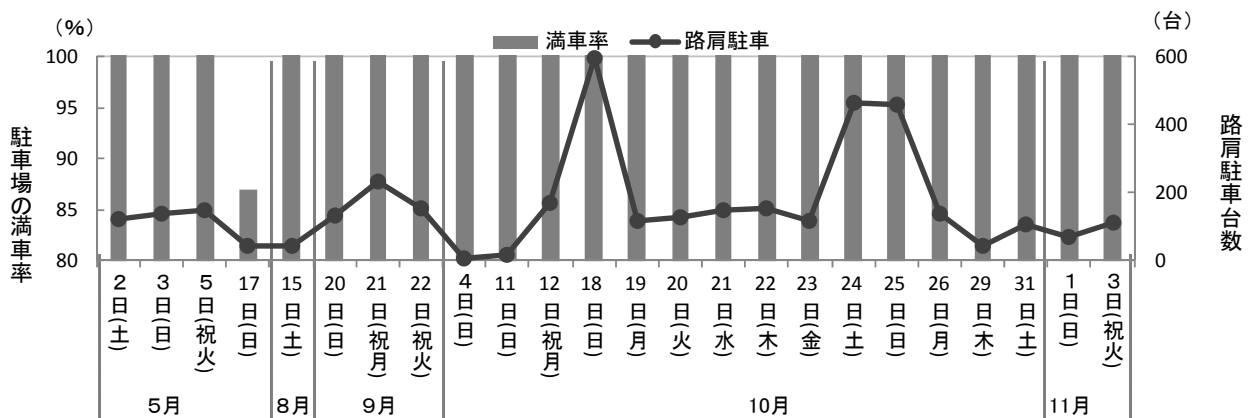
(7) 山上駐車場の駐車台数と路肩駐車が発生状況との関係

- ・平成 26～28 年度の大台ヶ原ドライブウェイでの駐車状況について、山上駐車場の満車率と路肩駐車台数をグラフで比較した。路肩駐車が発生した日（グラフ横軸）について、山上駐車場の満車率、路肩駐車台数を示す。満車率は山上駐車場において、176 台を満車（100%）として、駐車された台数の割合を算出した。

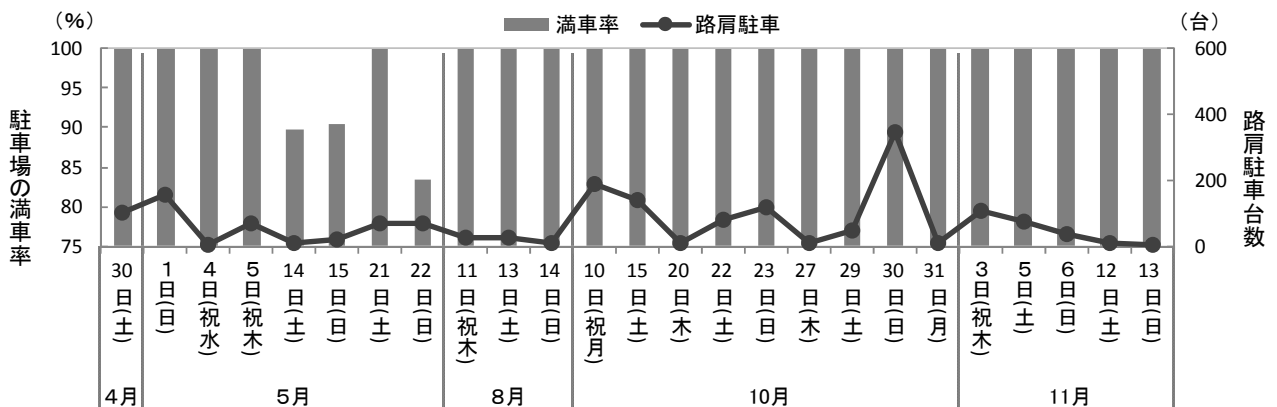
図表 11-1 山上駐車場の満車率と路肩駐車台数（平成 26 年度）



図表 11-2 山上駐車場の満車率と路肩駐車台数（平成 27 年度）

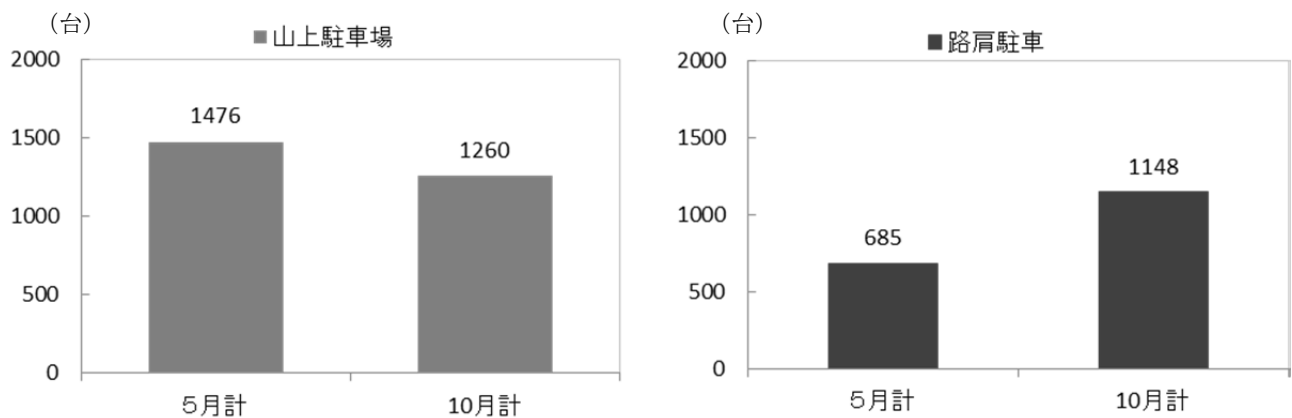


図表 11-3 山上駐車場の満車率と路肩駐車台数（平成 28 年度）

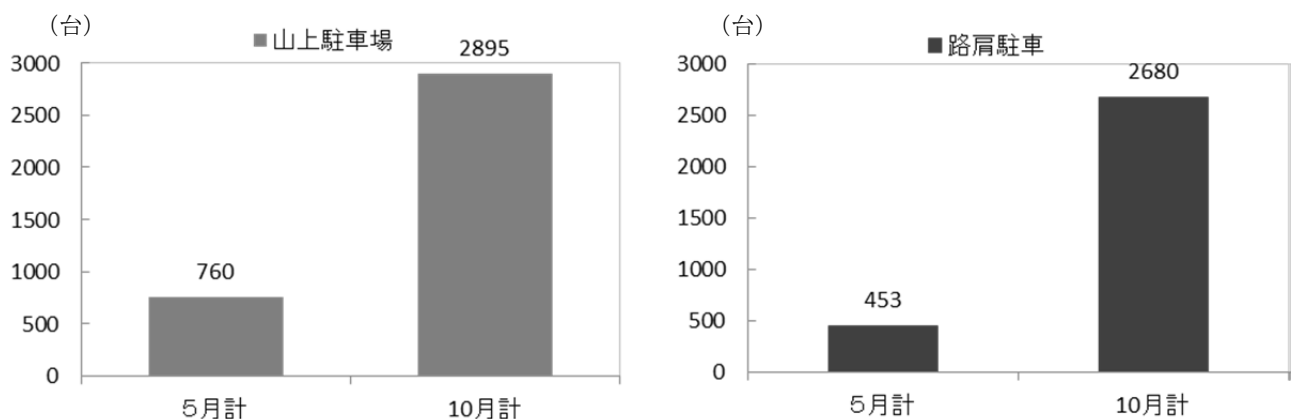


- ・毎年5月、10月に路肩駐車が発生件数が多いことから、平成26年～28年の過去3年に渡って、路肩駐車発生日における、山上駐車場と路肩駐車の数値をグラフにて集約した。
- ・5月においては、平成27年度に減少し、山上駐車場の台数に関わらず横ばいで推移した。10月においては、山上、路肩ともに平成27年度に大きく増加し、平成28年度に減少した。ただし平成28年度は平成26年度と比較すると、山上駐車場台数は多く、路肩駐車台数は少ないことから、路肩駐車の数値に減少傾向が伺える。

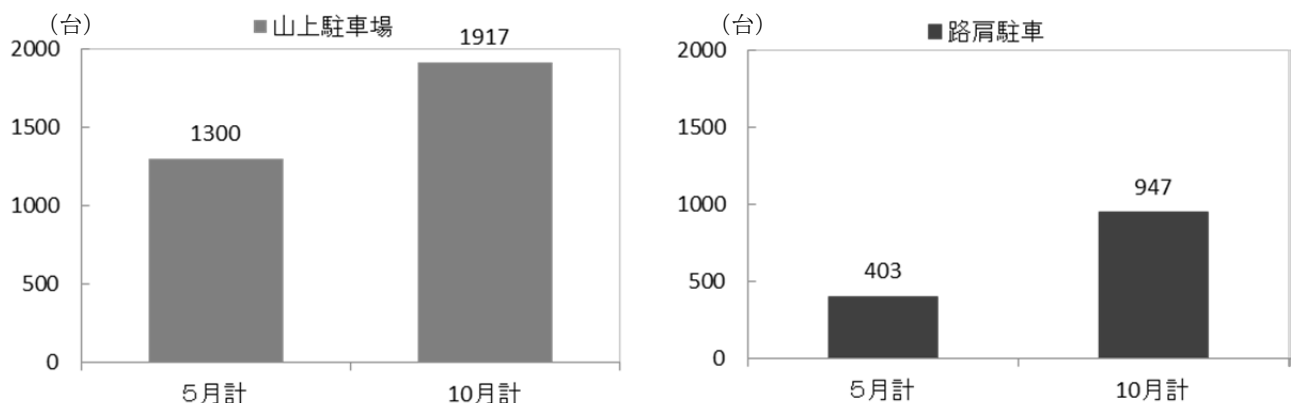
図表 12-1 シーズン期間における山上駐車場と路肩駐車の数値（平成26年度）



図表 12-2 シーズン期間における山上駐車場と路肩駐車の数値（平成27年度）



図表 12-3 シーズン期間における山上駐車場と路肩駐車の数値（平成28年度）



Ⅲ. 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施

1. 調査概要

- ・「西大台利用調整地区」の事前レクチャー受講者を対象に意見聴取（アンケート調査）を実施し、利用者の属性や利用実態、利用後の満足度、事前レクチャーに対する評価等を把握した。
- ・意見聴取の実施方法は図表 13 に示すとおりである。また、意見聴取票における主な質問項目は図表 14 に示すとおりである。

図表 13 意見聴取の方法

■調査名
・西大台利用調整地区の利用に関する意見聴取
■対象
・「西大台利用調整地区」の事前レクチャー受講者
■配布期間
・平成 28 年 5 月 5 日～11 月 30 日
■調査票の配布・回収
・大台ヶ原ビジターセンターで、事前レクチャー受講者に対し、意見徴収用紙と返信用封筒を配布した。意見聴取用紙の回収方法は、現地回収（大台ヶ原ビジターセンター）と郵送回収の 2 種である。

図表 14 主な質問項目

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・利用者情報・来訪を決めた時期・団体ツアー・個人（団体ツアー以外）の別・行程（宿泊の有無）・来訪回数・入山前に大台ヶ原ビジターセンターで受けたレクチャーについて・西大台利用調整地区の制度に対する認知・携帯用トイレブース利用の有無・利用時の混雑さの印象・印象に残ったこと・再訪の意向・ガイド利用について |
|---|

図表 15 平成 20～28 年度のアンケート用紙配布数及び回収率

区分	配布数	回収数	回収率
H20	1,025	445	43.4%
H21	1,020	145	14.2%
H22	1,501	448	29.8%
H23	1,604	420	26.2%
H24	1,930	659	34.1%
H25	2,615	545	20.8%
H26	943	643	68.2%
H27	2,576	916	35.6%
H28	2,381	1,435	60.3%

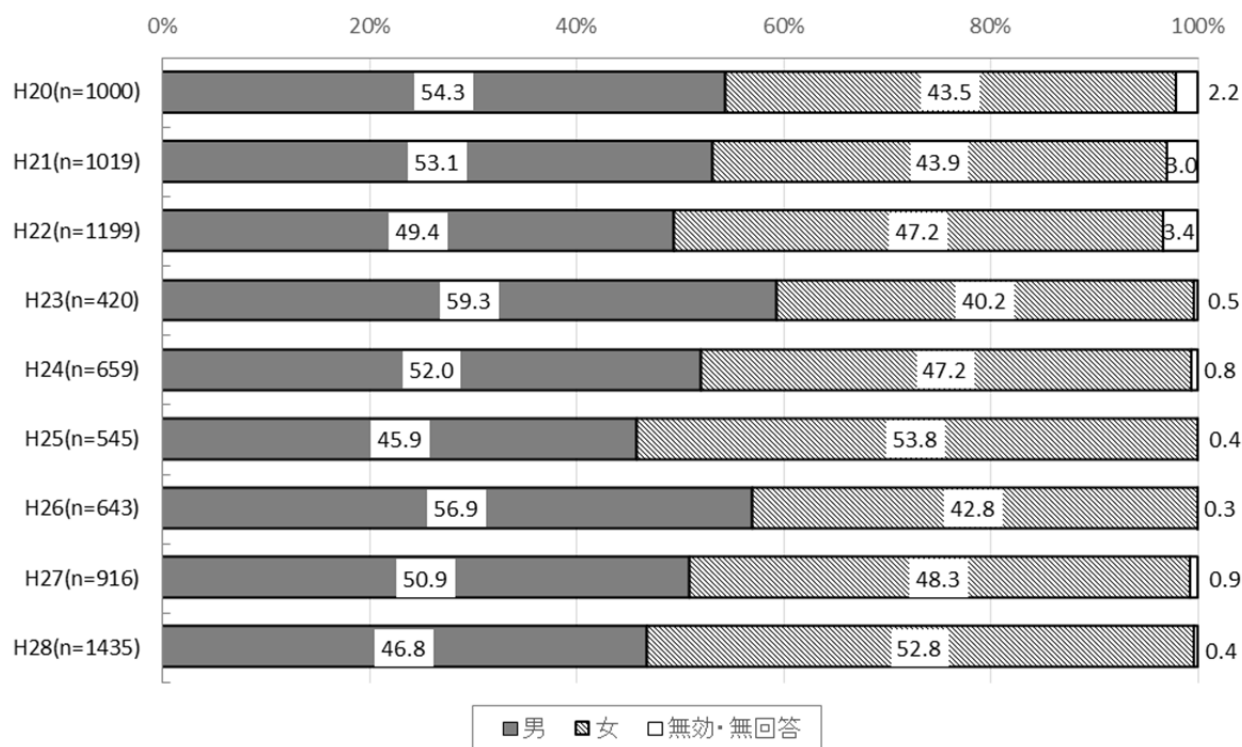
2. 基本事項

(1) 回答者の属性 [SA] ⁸

① 性別

- ・平成 28 年度利用者の性別は男性が 46.8%、女性が 52.8%であった。
- ・女性の利用者が男性の利用者よりもやや上回っていた。
- ・平成 26 年からの 3 ヶ年では、女性の割合に増加傾向がみられた。

図表 16 利用者の性別

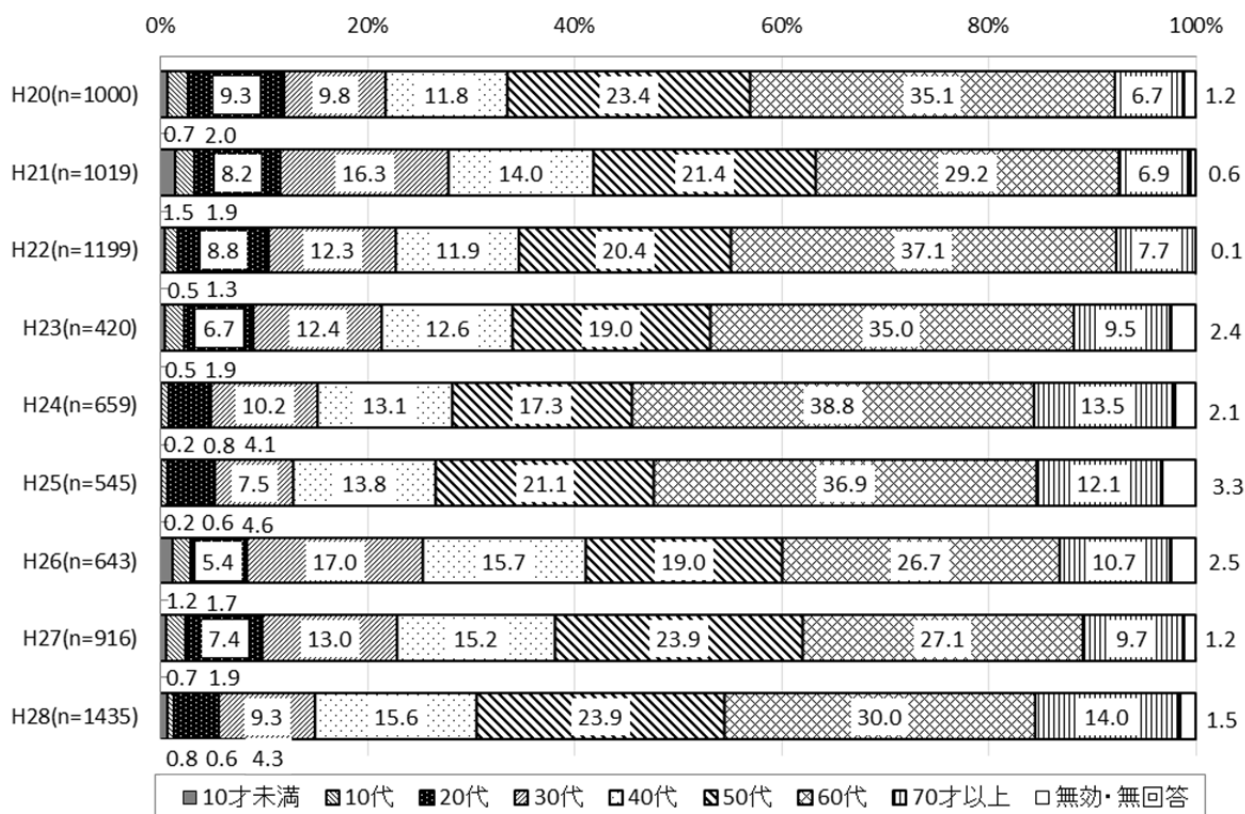


⁸ 以下、単一選択の質問は [SA]、複数選択の質問は [MA]、記述式（自由回答）の質問は [FA] と表示

② 年齢

- ・平成 28 年度利用者の年齢は、60 代（30.0%）が最も多く、次いで 50 代（23.9%）であった。
- ・50 代以上の層が平成 27 年度から増加し、7 割近くであった。

図表 17 利用者の年齢



③ 居住地

- ・平成 28 年度利用者の居住地については、大阪府（42.9%）が最多であった。次いで兵庫県（13.0%）、奈良県（12.7%）の順であった。
- ・大阪府は平成 20 年以降、最も高い割合であった。

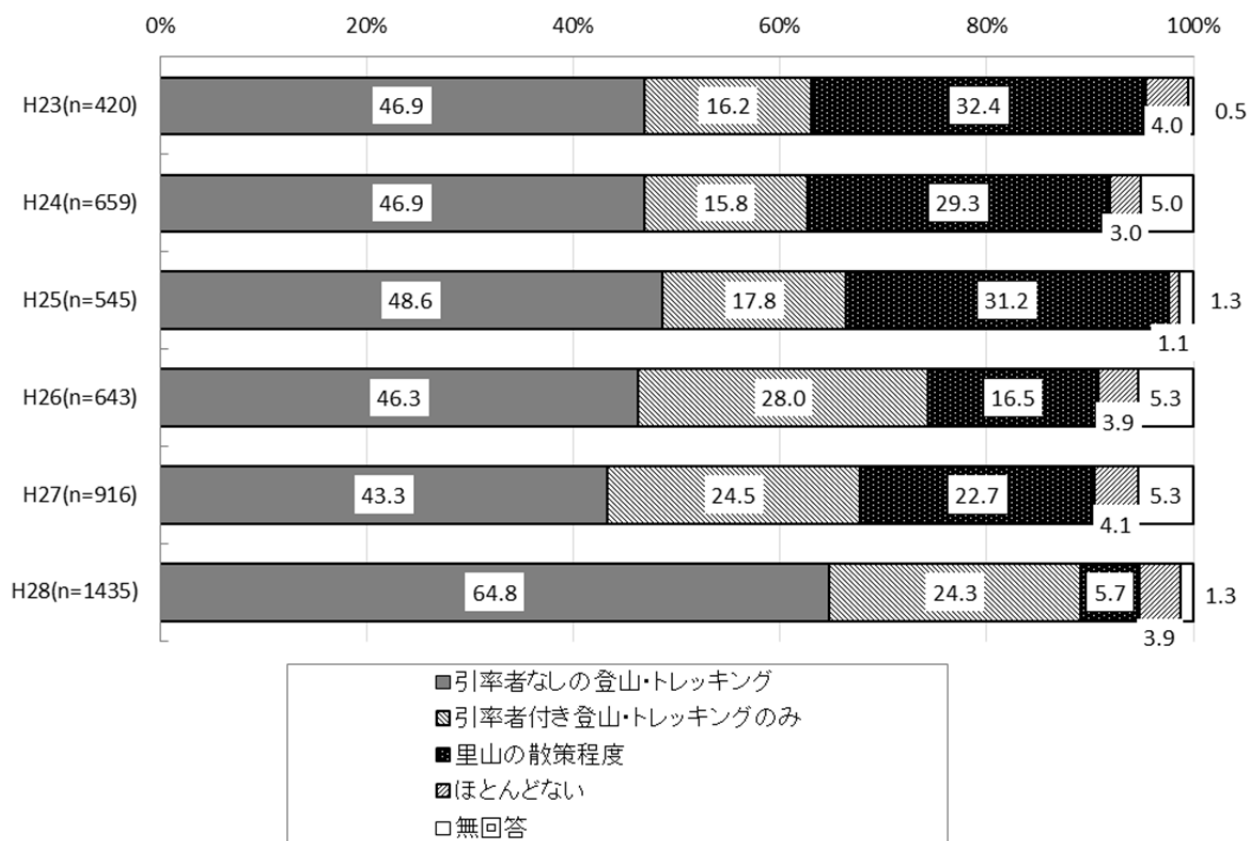
図表 18 利用者の居住都道府県（上位 8 県）

区分	H20(n=1000)	H21(n=1019)	H22(n=1199)	H23(n=420)	H24(n=659)	H25(n=545)	H26(n=643)	H27(n=916)	H28(n=1435)
1	大阪 35.0	大阪 30.3	愛知 23.1	大阪 31.4	大阪 30.5	大阪 25.9	大阪 32.3	大阪 29.4	大阪 42.9
2	奈良 13.1	兵庫 14.1	大阪 20.1	奈良 18.1	奈良 12.6	奈良 13.9	兵庫 15.4	奈良 19.3	兵庫 13.0
3	兵庫 11.2	奈良 13.2	奈良 16.1	兵庫 11	兵庫 8.5	兵庫 12.3	京都 10.6	兵庫 12.3	奈良 12.7
4	京都 6.5	京都 9.2	兵庫 10.5	愛知 5.7	愛知 8.5	愛知 7.3	奈良 9.2	京都 9.3	京都 8.2
5	三重 6.1	神奈川 4.2	京都 10.1	京都 5.5	三重 7.3	京都 5.1	岡山 5.8	愛知 4.1	三重 3.3
6	東京 6.0	愛知 3.9	三重 7.9	三重 4.5	京都 7.0	和歌山 3.9	愛知 5.6	滋賀 2.7	和歌山 2.9
7	愛知 5.9	東京 3.5	和歌山 2.7	和歌山 4.3	静岡 5.9	神奈川 3.5	和歌山 4.5	神奈川 2.6	愛知 2.2
8	和歌山 3.8	和歌山 3.5	岐阜 1.8	福岡 2.4	和歌山 2.9	滋賀 2.6	三重 2.6	東京 2.4	滋賀 2.0

④ 登山経験

- ・平成 28 年度利用者の登山経験⁹については、「引率者なしの登山・トレッキング」(64.8%)が最多であった。
- ・平成 27 年度と比較すると、「里山の散策程度」が減少し、「引率者なしの登山・トレッキング」が増加した。

図表 19 利用者の登山経験

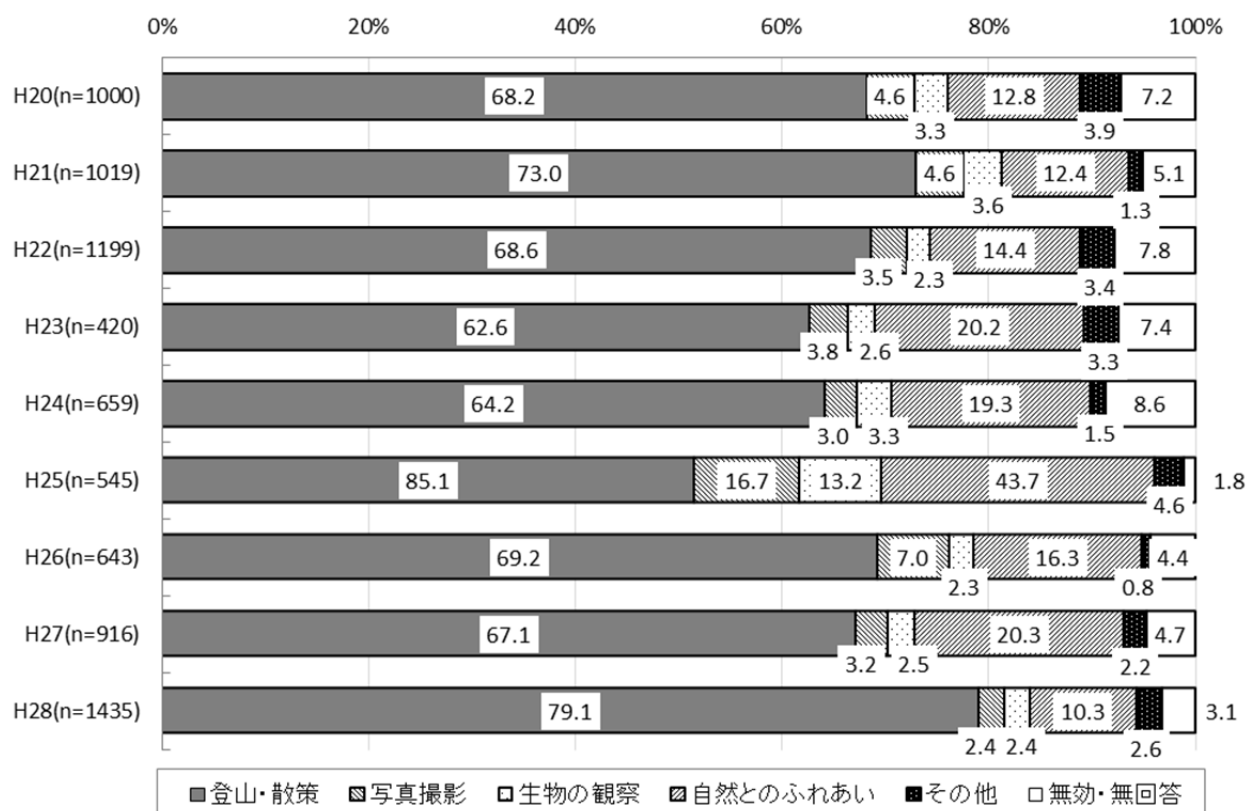


⁹ 平成 27 年度までの選択肢は「(ガイドなしで) 本格的な登山経験あり」、「ガイド付き登山・トレッキング」

⑤ 来訪目的

- ・平成 28 年度利用者の西大台への来訪目的^{10,11}は「登山・散策」が大部分を占めた（79.1%）。
- ・平成 26 年からの 3 ヶ年で「登山・散策」の割合は最も高い。

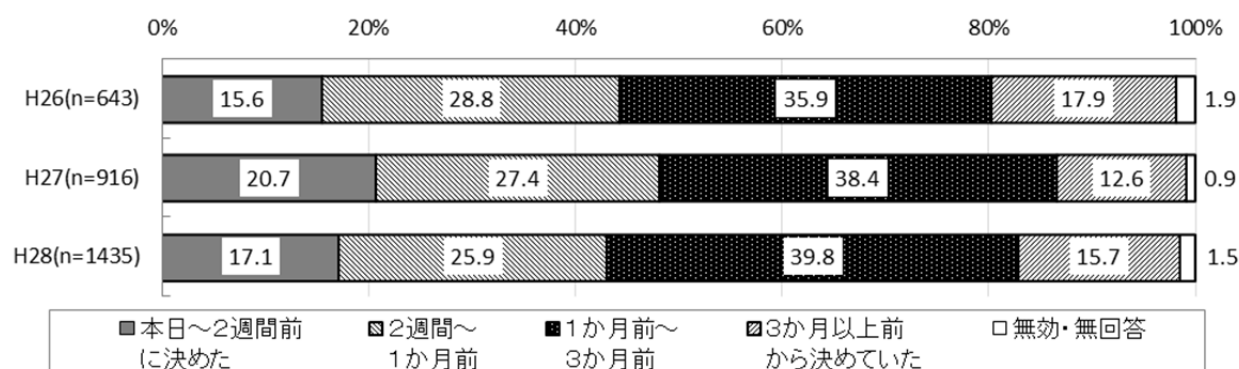
図表 20 西大台への来訪目的



(2) 来訪を決めた時期 [SA]

- ・平成 28 年度利用者の西大台利用調整地区の利用を決めた時期は、「1 か月前～3 か月前」が最多（39.8%）であった。

図表 21 西大台への来訪を決めた時期



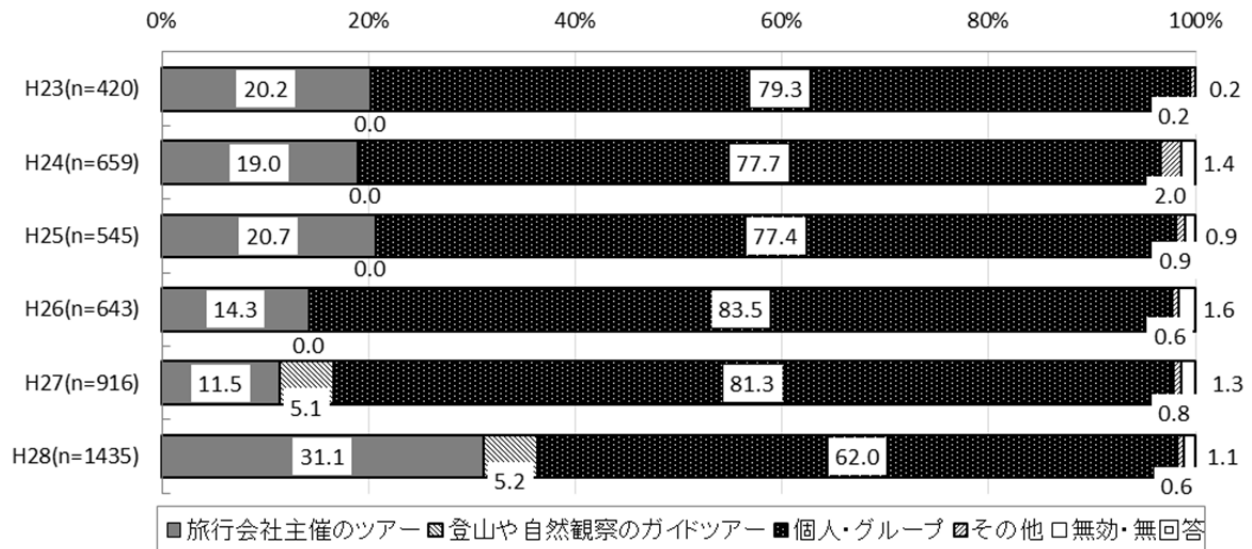
¹⁰ 「学習目的」の選択肢は平成 23～25 年度のみ。

¹¹ 平成 25 年度は設問が複数回答のため、合計が 100%を超える。

(3) 団体ツアー・個人の別 [SA]

- ・平成 28 年度利用者における団体ツアー・個人の別については、「個人・グループ」が最多であった (62.0%)。
- ・平成 23 年以降と比較すると、「旅行会社主催のツアー」が大きく増加した。

図表 22 団体ツアー・個人の別



- ・旅行会社ツアーの参加者 447 名について、その主催者は「阪急交通社（トラピックス）」が最も多く（101 名）、次いで「毎日新聞旅行」（78 名）、「サンケイトラベル」（67 名）であった。
- ・登山や自然観察のガイドツアー 75 名について、その主催者は「上北山村地域活性化イベント実行委員会/環境省・上北山村」が最も多い（30 名）。

図表 23 旅行会社主催のツアー 主催者名

区分	カテゴリ	実数	%
1	阪急交通社（トラピックス）	101	22.6
2	毎日新聞旅行	78	17.4
3	サンケイトラベル	67	15.0
4	クラブツーリズム	18	4.0
5	朝日旅行	17	3.8
6	アルファトラベル	14	3.1
7	カルチャーClub 旅行サロン	12	2.7
	その他	17	3.8
	無効・無回答	123	27.5
	計	447	

図表 24 登山や自然観察のガイドツアー 主催者名

区分	カテゴリ	実数	%
1	上北山村地域活性化イベント実行委員会/環境省・上北山村	30	40.0
2	A&F	8	10.7
3	アドスポーツ	3	4.0
3	B. B. A.	3	4.0
3	亀山市自然に親しむ会	3	4.0
	その他	14	18.7
	無効・無回答	14	18.7
	計	75	

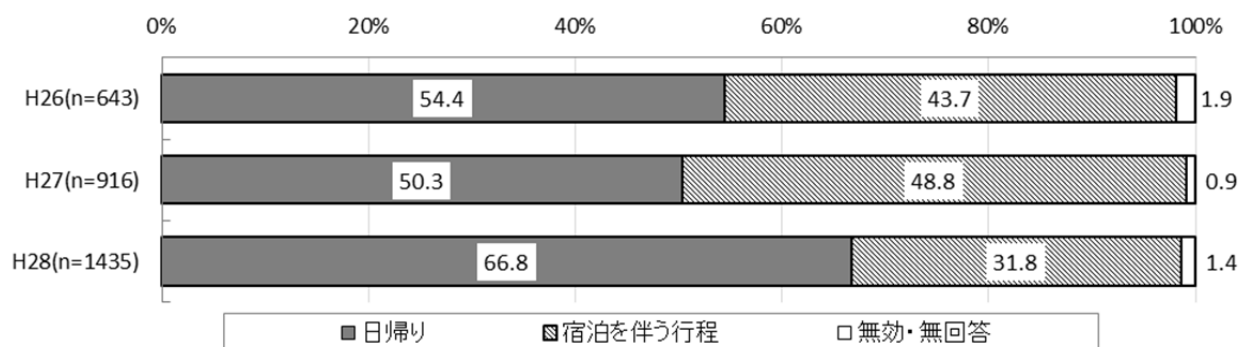
図表 25 個人・グループでの来訪時の人数

区分	個人・グループの人数	実数	%
1	1 人	75	8.4
2	2 人	291	32.7
3	3 人	118	13.3
4	4 人	93	10.5
5	5 人	67	7.5
6	6 人	44	4.9
7	7 人	28	3.1
8	8 人	23	2.6
9	9 人	1	0.1
10	10 人	15	1.7
11	11 人以上	69	7.8
	無効・無回答	65	7.3
	計	889	

(4) 行程 [SA・FA]

- ・平成 28 年度利用者の行程は「日帰り」(66.8%)が多く、「宿泊を伴う行程」(31.8%)を大きく上回った。
- ・平成 27 年度と比較すると、「宿泊を伴う行程」が減少し、「日帰り」が増加した。
- ・宿泊を伴う行程の利用者 457 名について、その宿泊先は「心 湯治館」(273 名)が 6 割を占めた。

図表 26 大台ヶ原への行程



図表 27 宿泊先 (宿泊を伴う行程の利用者のみ)

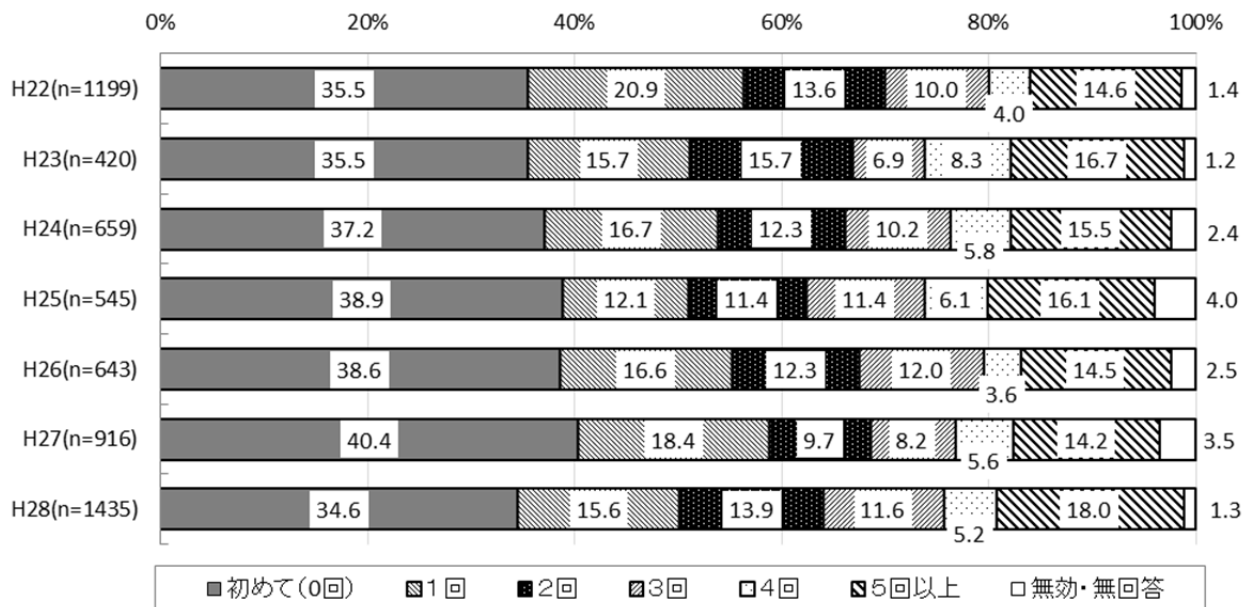
区分	カテゴリ	実数	%
1	心 湯治館	273	59.7
2	車中泊	31	6.8
3	桃の木山の家	20	4.4
4	フェリー泊	16	3.5
5	ホテル杉の湯	8	1.8
6	キャンプ場	6	1.3
7	洞川温泉	5	1.1
	その他	50	10.9
	無効・無回答	68	14.9
	回答者	457	

(5) 来訪回数 [SA]

① これまで大台ヶ原に来た回数

- ・平成 28 年度利用者における大台ヶ原への来訪回数は、「初めて」(34.6%) が最多であった。
- ・リピーター（「1 回」以上）の割合は、平成 27 年度 (56.1%) から増加し、64.3%と 6 割を大きく超えた。

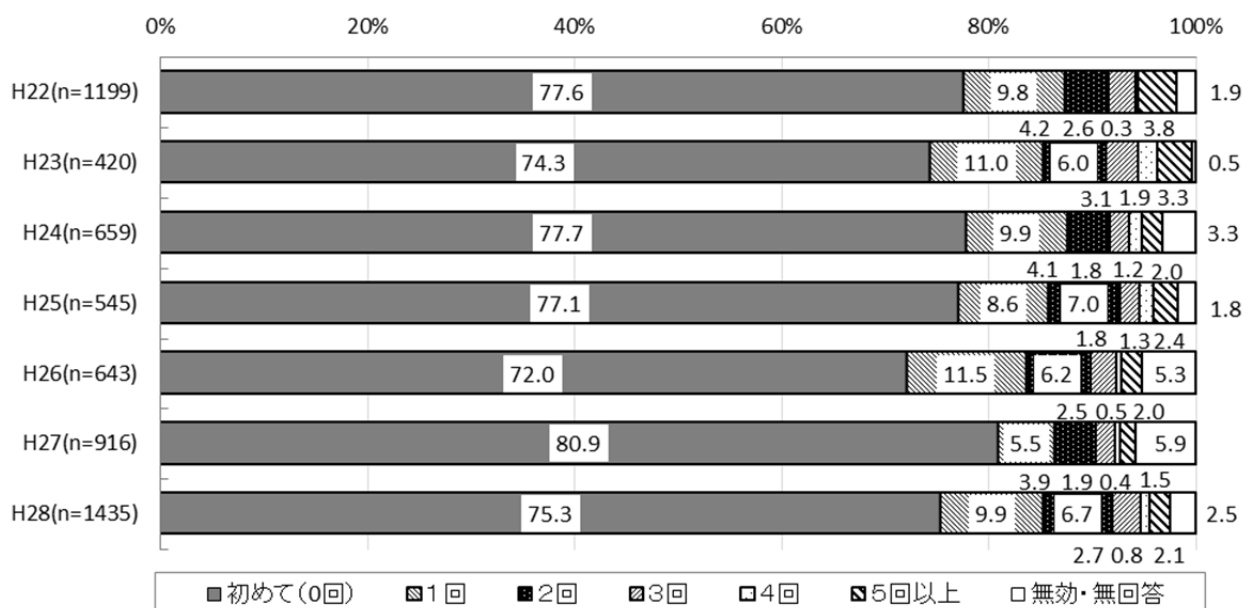
図表 28 大台ヶ原への来訪回数



② うち西大台地区に来た回数

- ・平成 28 年度利用者における西大台地区への来訪回数は、「初めて」(75.3%) が最多であった。
- ・リピーター（「1 回」以上）の割合は、平成 27 年度 (13.2%) から増加し、22.2%と 2 割を超えた。

図表 29 西大台への来訪回数

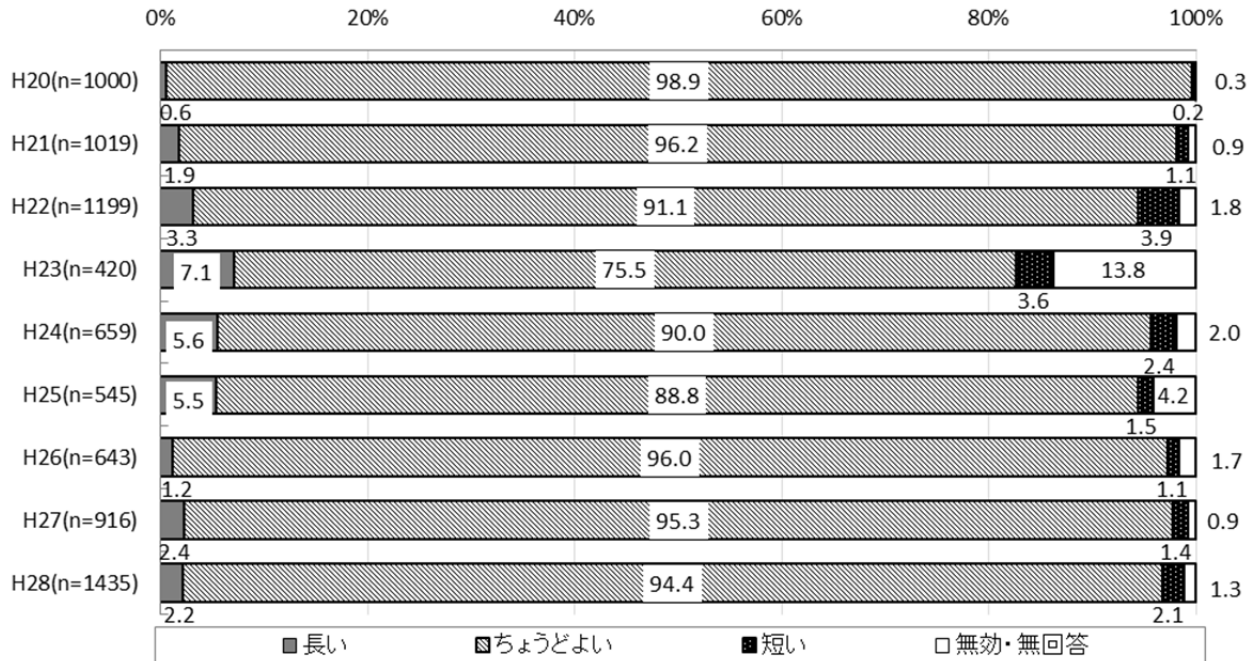


3. ビジターセンターのレクチャーについて

(1) 長さ [SA]

- ・平成 28 年度における事前レクチャーの長さ（時間）については、「ちょうどよい」（94.4%）が最多であった。

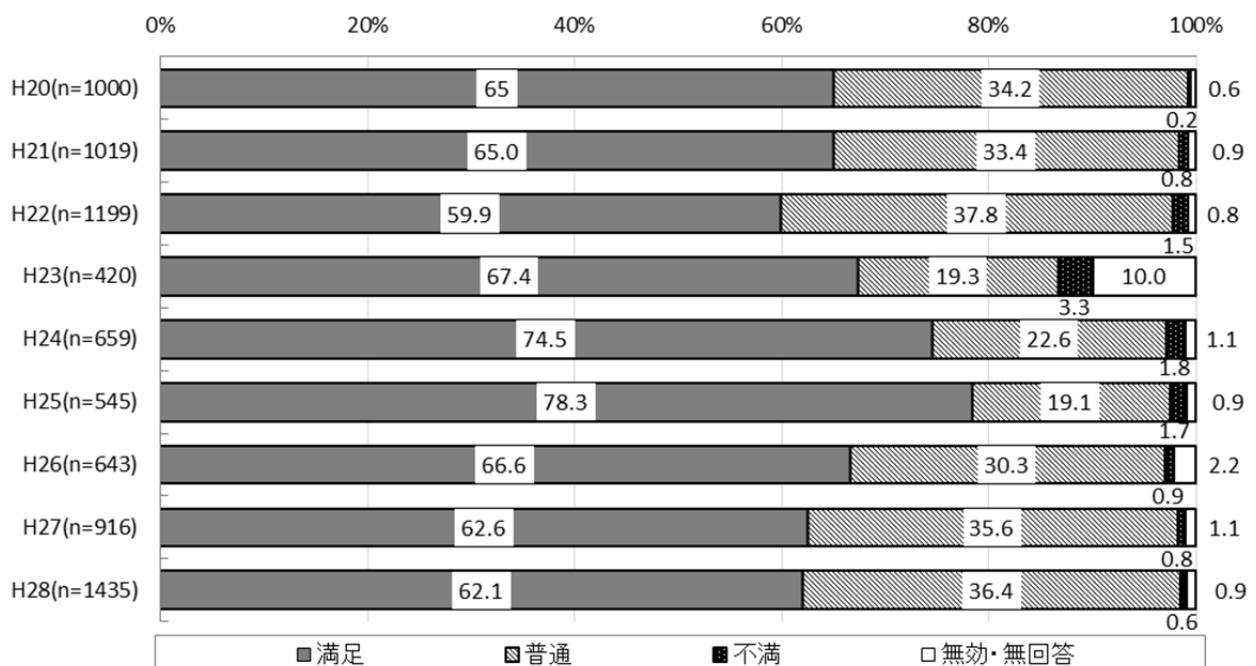
図表 30 事前レクチャーの時間の長さに対する評価



(2) 内容 [SA]

- ・平成 28 年度における事前レクチャーの内容については、「満足」が 62.1%と最も多く、「普通」が 36.4%、「不満」が 0.6%であり、概ね満足度は高いと言える。

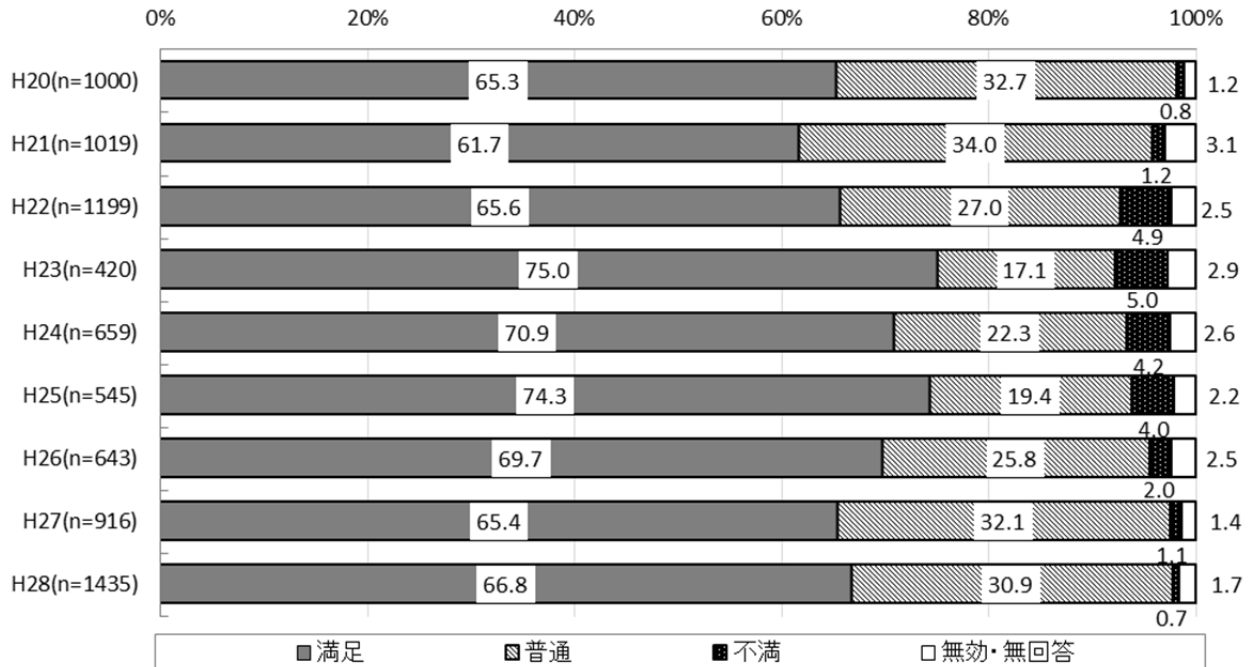
図表 31 事前レクチャーの内容に対する評価



(3) 配布冊子 [SA]

- ・平成 28 年度の配布冊子の内容については、「満足」が 66.8%と最も多く、「普通」が 30.9%、「不満」が 0.7%であり、レクチャー同様、概ね満足度は高いと言える。

図表 32 事前レクチャーの冊子内容に対する評価



(4) レクチャーの内容や配布冊子について不満の理由・改善すべき点 [FA]

- ・平成 28 年度のレクチャー内容について「普通」「不満」と答えた利用者のうち、不満な点あるいは改善すべき点については下記（図表 33）にとりまとめた。

図表 33 レクチャー・冊子の不満点についての自由記述（抜粋）

項目	自由記述
レクチャー／時間の長さ	歩いて疲れている時間だったので、眠くなり長く感じた。15 分位が適当では。
レクチャー／内容	不満ではないが「禁止事項はパンフレットを見て下さい」ではなくて 1 つ 1 つ説明した方がいいと思う。ほとんどの人はパンフレットを見る時間がなかったから。
	植物をくわしく聞くと、道以外はいけません、保護区ですと、そっけない。
	大そうなレクチャーを受けるとたのしみにしていたが、内容は乏しい。山でのマナー等は当たり前なので、レクチャー受ける程ではない。
	”レクチャー：携帯トイレブースはトイレではないこと、非常用なので出発前に用を済ませておくこと、を明確に伝えるべき。クマの出没地点と日時、くくりわな設置地点（概要のみ）といったリアルタイム情報をきちんと知らせるべき。
	殆ど行動規制の説明で、ここの生態系（樹木、苔などの植物や動物など、天候・・・）についての説明（特徴など）がない。
	冊子の内容は（後で見ると）とてもいいのだが、レクチャーが長くないのはいいが、あまりにも大雑把で、冊子の内容にも少し触れてくれたらいいのに、と後になって思いました。
	トイレの使用方法をもう少し具体的説明してほしい。暗やみで、よく読みとれず困った。
レクチャー／方法	耳が遠くなったので、シンドかった。致し方ないね。
	よく伝わらない。素人という感じがします。話し方が下手。

図表 33 レクチャー・冊子の不満点についての自由記述（抜粋）（続き）

項目	自由記述
冊子／内容	自然の良さをもっと伝えて欲しい。特に植物の収録類・数を写真付きで表示して欲しい。
	地図のコースタイムが市販のものとかかなり異なっているので、どういう想定で設定したのか明記すべき。
	パンフレットは、ごうかすぎると思う。もっと簡素なもので良いので、その分の経費を他の大切な事に使ってほしい。
	もう少し詳しい地図、道の状況情報、タイムスケジュール等、の内容のガイドブックが欲しい。有料でも可。
冊子／配布方法	ガイドブックは事前に頂けるとゆっくり読めるのにと感じました。
	ガイドがポケットサイズであれば助かります。

（５） その他ご意見 [FA]

- ・レクチャーの時間割等についてのその他の自由意見は下記のとおりであった。

図表 34 レクチャーについての自由記述（抜粋）

項目	自由記述
レクチャー／内容・	ていねいな説明でわかりやすかったです。
	臨機応変にいつも対応してもらっており、感謝しています。また、疑問点も親切ていねいに教えてもらえます。
	よくわかってビデオも○。
	あつという間でした。もっと色々な話があるのなら聞いてみたいと思いました。
	コースのイメージが出来て、歩いていても不安にならずよかったです。1歩はずれると道がありすぎて、迷いこんだら深い森ですが、こわくなかったです。
	ビューポイントや「開拓」の歴史、見所についてもっとアピールしても、いいと思います。
	トイレの処理はもう少し詳しく。処理する物が少なくて後の人は大丈夫かと心配でした。
	思っていたよりも短かった。スライド等の上映を多くして欲しい。
	刑罰法規に関する説明箇所のみ声色を変える説明は不愉快。もっと自然に説明せよ。
	いただいた冊子をただ繰り返している（読み上げる）内容なので、それ以上の内容のあるレクチャーが希望。時間割については、いいと思います。
	ツアーできたので開始時間についての意見はないが、禁止事項についてはもっときつく言ってもよいと思う。
レクチャー／タイミング	待ち時間なしで大満足
	今回、初めてのレクチャーでしたが、前日の夕方に受けることができて、助かりました。
	予約せずに受講できるのがいい。
	夕方 16:00～でちょうど時間的に良かった。
	30分に1回がいいです。
	本日、帰路に向かう日程だったので、8時30分よりも早く、例えば8:00に開催いただきかった。
	7:30～のレクチャーを受けたが、もっと早い時間があれば良いと思う。
	できるかぎり早く開始してほしい。クライミング、沢登りなどは、安全の為早朝の出発を原則としているため、お願いをしたい。
	午前7:30～の次が8:30～（利用集中期）は少し間があいているので、朝の部のみ、回数を増やしてほしいです。
	東大台散策後に受講するには最終16:00では早すぎる為17:00～の時間帯も設定してほしい

図表 34 レクチャーについての自由記述（抜粋）（続き）

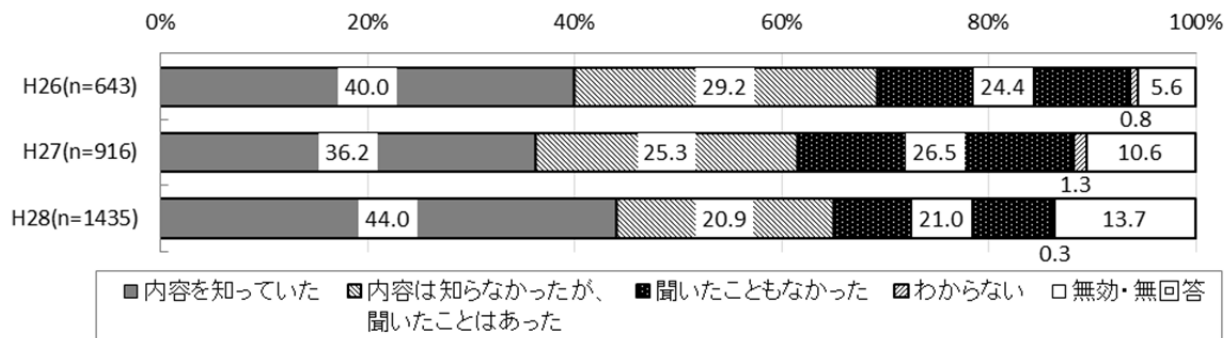
レクチャー ／対応	梅雨の時期なので入山者が少ないらしく、適宜レクチャーを開始してくれたので非常に良かった。
	以前に受けている場合、途中退場させてくれるので助かります。
	最終の時刻を過ぎていたにもかかわらず、実施して頂き、ありがとうございました。
	受け付けがばたばたしてますねえ。
	ホームページ等でレクチャーを受けられるようにしても良いのでは。
レクチャー ／その他	レクチャーの有効期限の延長とか考えていただきたい。
	写真撮影は早朝に行ないたいので、レクチャー年1回の方法は良いが、許可証の発行をなんとかしてもらいたい。
	レクチャー室の椅子がとても冷たくて、どうしようもないのかな・・・。
冊子／内 容・仕様	冊子の内容がすごく良かった。木や花の説明がもっとあれば、西大台で見られる木で種類が判別できないものが多くあった。
	西大台のマップも耐水紙のものを用意して下さると良いと思います。
	動植物紹介のページを増やしてほしい。
コース／設 備	数カ所ベンチ等があれば嬉しい
	トイレは必要（負担 OK）。
その他	身分証明が必要なことを、あらかじめ分かっていたら準備できた。
	天候不良の時に、申請日を1回でも変更させていただけるとうれしいです。ひと月以内とかでもいいので。
	日帰り登山には問題点があります。スタートからゴールまでの時間の配分がうまく出来なかった。それは各ポイント毎に、ゴールまであと何キロ、とか現在地はスタートから何キロ地点とか標識に記入提示してあれば自分の足と速度を考えて、ゴール地点をあわてることなく、歩けたと思う。それに10名毎10分あげられると、20名チームにはロスが出て困ります。最終バスと電車時刻を考えると、利用者のことをもう少し考えて頂きたい。
	・四季の移り変りの景色等が見たかったです。・立入認定証は、せめて2年間有効にして欲しいと思いました。認定証に立入認定日～失効日等の印字が欲しい。有効期限がないのは不満!!

4. 西大台利用調整地区制度の認知について

(1) 利用調整制度の認知度 [SA]

- ・利用調整制度について平成 28 年度利用者における事前認知の状況は「内容を知っていた」(44.0%) が最多であった。
- ・平成 27 年度と比較すると、「内容を知っていた」は増加し、「聞いたこともなかった」は減少した。

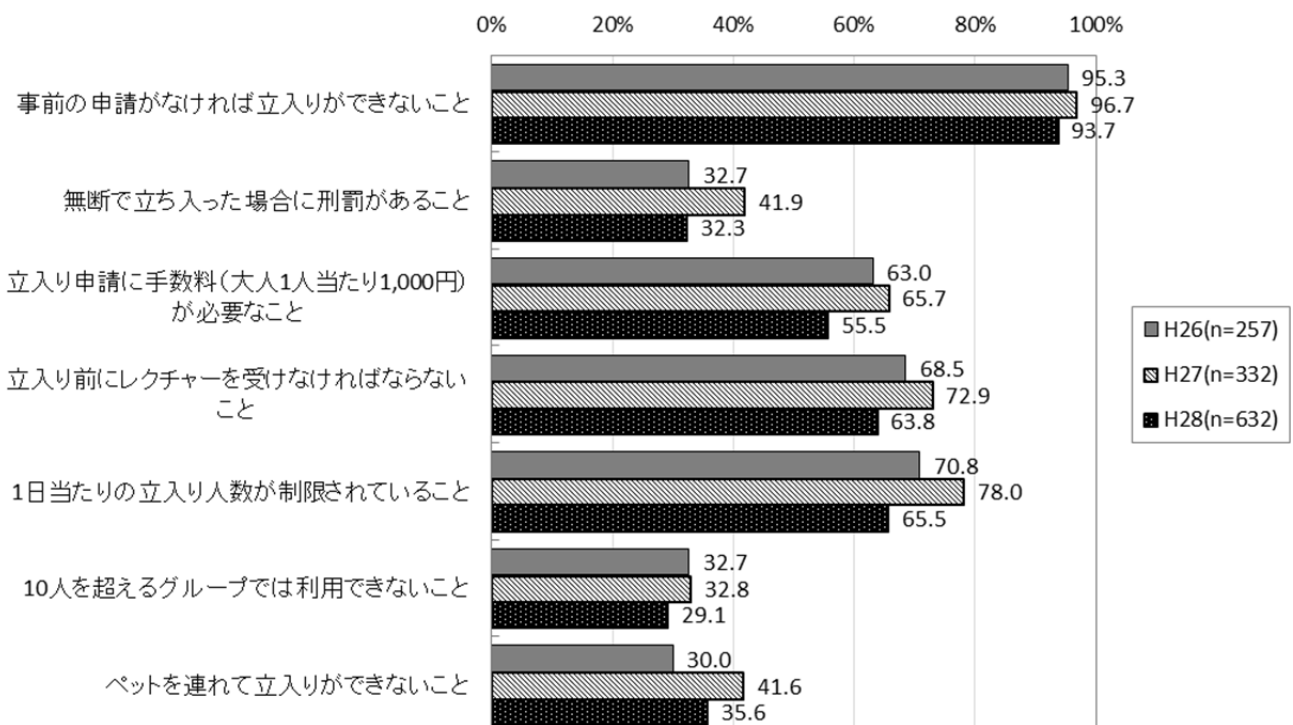
図表 35 西大台利用調整地区制度に対する認知度



(2) 利用調整制度の詳細に関する認知 [MA]

- ・上記設問で「内容を知っていた」と回答した利用者を対象に、利用調整制度の詳細に対する認知を尋ねたところ、平成 28 年度では、認知の多い項目から順に「事前の申請がなければ立入りができないこと」(93.7%)、「1 日当たりの立入り人数が制限されていること」(65.5%)、「立入り前にレクチャーを受けなければならないこと」(63.8%) であった。
- ・平成 27 年度と比較すると全般に減少傾向がみられ、「事前の申請がなければ立入りができないこと」「10 人を超えるグループでは利用できないこと」以外で減少幅が大きい。

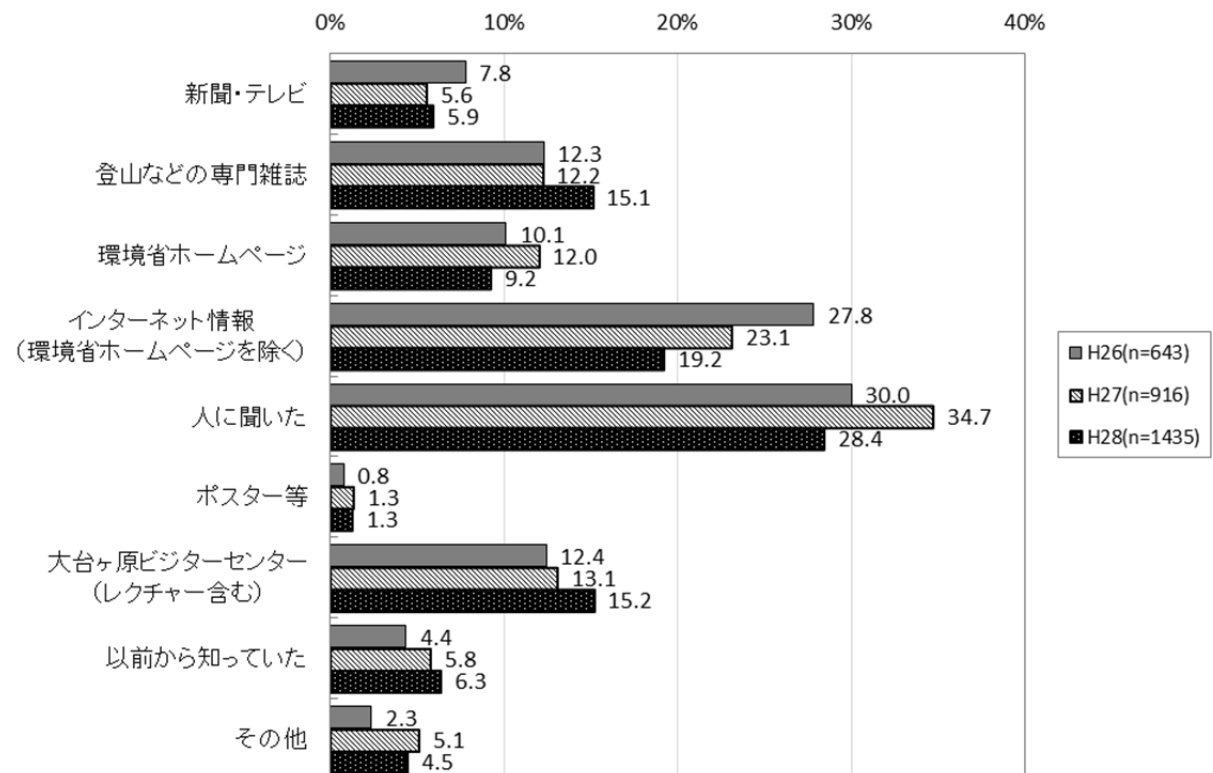
図表 36 利用調整制度の詳細に対する認知



(3) 制度を認知した情報媒体 [MA]

- ・利用調整制度を認知した情報媒体としては、「人に聞いた」(28.4%) が最多であった。次いで「インターネット情報(環境省ホームページを除く)」(19.2%)、「大台ヶ原ビジターセンター」(15.2%)、「登山などの専門雑誌」(15.1%) であった。
- ・「インターネット情報(環境省ホームページを除く)」は平成26年度からの3ヶ年で減少傾向がみられた。

図表 37 利用調整制度を認知した情報媒体

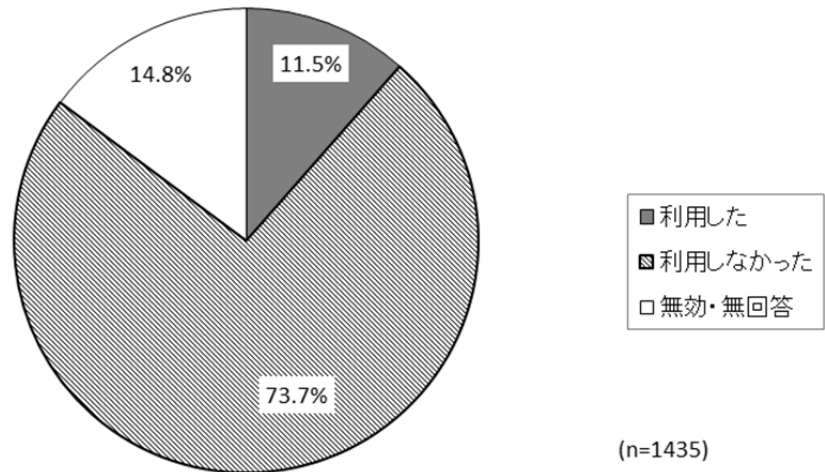


5. 西大台利用調整地区の利用について

(1) 携帯用トイレブース利用の有無 [SA]

- ・西大台利用調整地区における携帯用トイレブースの利用については、「利用しなかった」が73.7%を占め、「利用した」は11.5%であった。

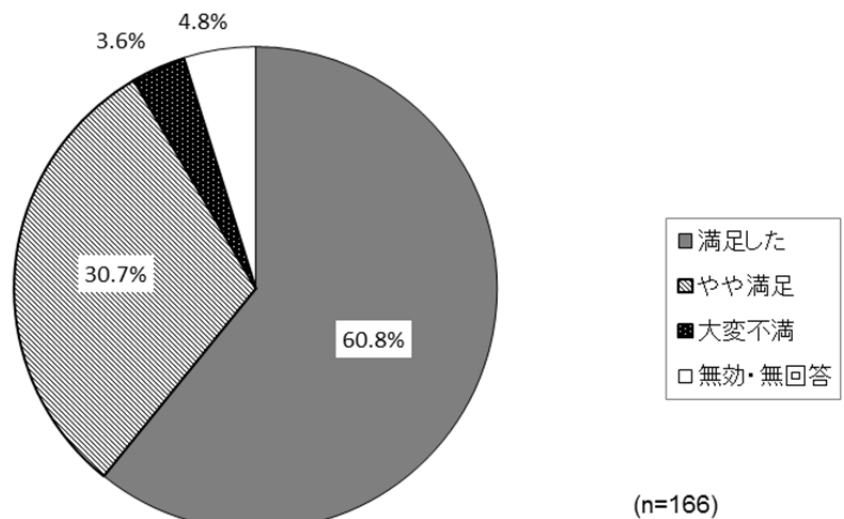
図表 38 携帯用トイレブースの利用



① 利用した感想

- ・上記設問で「利用した」と回答した利用者を対象に感想を尋ねたところ、「満足」は60.8%、「やや満足」は30.7%と概ね満足されていた。一方、「大変不満」は3.6%であった。

図表 39 携帯用トイレブース利用の満足度



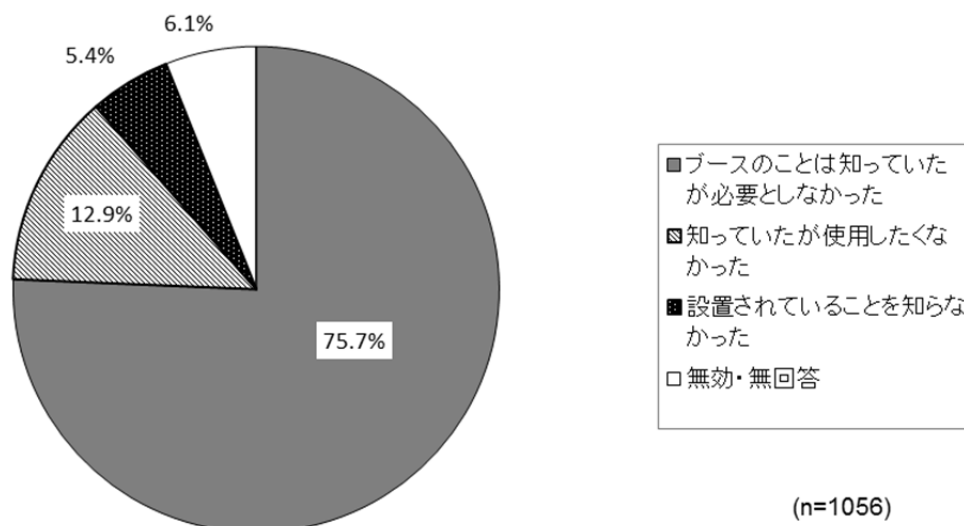
図表 40 携帯用トイレブースの満足度に関する自由記述（抜粋）

満足度	自由記述
満足した	初めての経験でしたので不安はありました。グループで先に入った人が使用方法を待っている間に教えてくださったのでスムーズに使用できました。
	説明がこまやか、かつ使用済みのものがこぼれないような配慮もきちんとされており、感心した。
	思ったより、使い方簡単だし、臭いもない。ただ老眼の為、文字はもっと大きくして下さい。
	簡単で使いやすくキットもそろえてくれていたので助かりました！！
	持ち帰り用の袋が頑丈だった。
	中間地点にあったのが良かった。
	携帯トイレブース内での携帯トイレのチップ提供は今までに例がなく感動しました。
	非常にきれいで衛生的だったから。
	今日はOKだったが、女性が多いパーティーでは時間がかかる（2つしかない）と思った。
やや満足	使い方が初めてでよくわからなくて、シーツの表とうらを間違えて失敗してしまった。でもこういう場所があるのは、本当に助かります。家にも災害にそなえて、トイレシーツをおいておきたいです。
	女性の場合、ティッシュを持って行った方がいいとひと言、書き添えて欲しい。
	男はちょっと使いづらい。
	鍵をもう少ししっかりさせて欲しい。
	自分の尿を自分で始末するのはあたりまえだとは思いますが、雨の中、袋をリュックに入れ持ち運ぶのに抵抗？もあり（リュックの中には副食等も入っているので）御迷惑でもトイレの横に回収箱を設置してほしかった。
	キットを開けるとそれを置くスペースがない。輪ゴムがスノコから落ちてしまった。
	スペースがせまく荷を外におき、ガイドさんに見てもらったから。
	少しせまい。トイレトペーパーや、ハンカチなどを置ける棚のようなものがあると便利。
	ややせまく、しばるゴムや器具を仮置きする所もなく、トイレの床のさらに底におとすと、取れなかった。人が待っていると思うと見本をゆっくり見ることができなかった。
	使用の仕方が、あの場所で、短時間に理解するのは苦勞する（うす暗い）。
大変不満	もう1ヶ所ぐらい欲しい。
	汚い、ハエがとんでいる
	使用の仕方がいまひとつ解らなかった。Bの袋がなかった。見落としかもしれませんが・・・。
	持ち帰るのは嫌でした。
	もっとしっかりした建物にして欲しい。

② 利用しなかった理由

- ・上記設問で携帯用トイレブースを「利用しなかった」と回答した利用者を対象に理由を尋ねたところ、「ブースのことは知っていたが必要としなかった」が75.7%、「知っていたが使用しなかった」は12.9%、「設置されていることを知らなかった」は5.4%であった。

図表 41 携帯用トイレブース非利用の理由



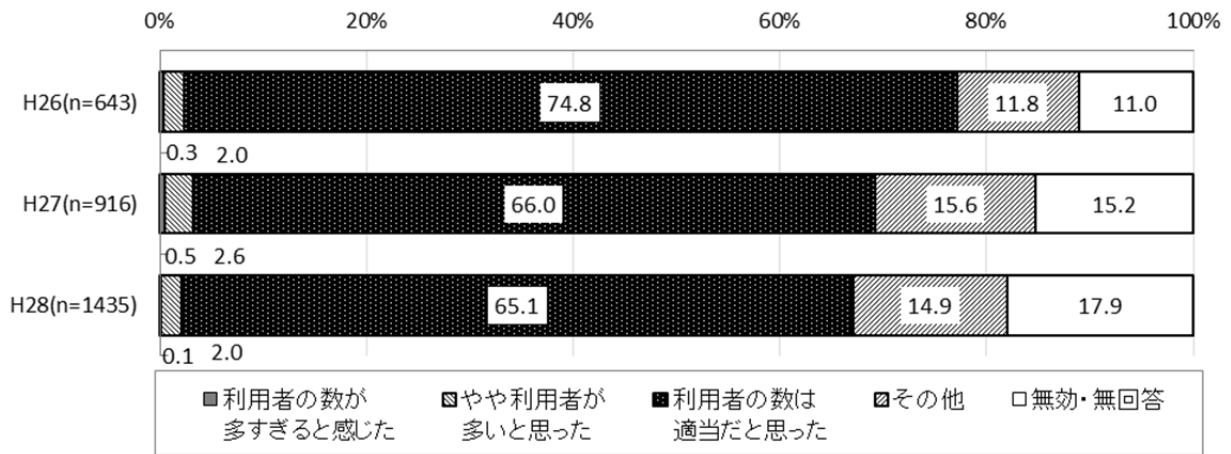
図表 42 携帯用トイレブースに関する自由記述（抜粋）

非利用理由	自由記述
知っていたが必要としなかった	行程上、また地理的にちょうどいいところに設置されていると感じています（ました）。
	コースの後半にあると助かる。
	出来れば使いたくないけど、緊急を要する時は、使うと思う。今回どういう使い方が分かったことは良かった。
	日本では、水、トイレなど無料に慣れてしまっているが、自然保護、環境保護、施設・整備・管理料として、有料の意識を持てるようにアピールしていった欲しい。駐車場のトイレも「有料」をアピールすべきです。ティッシュはゴミ箱へ！も。
	使用しませんでした、あるといざという時に安心して親切だなと思いました。自然にとっても、この程度であれば良いのでは。
	ブース使用された方によると尿をするとすぐしぼんできて、こぼれずに出来るか心配した。
知っていたが使用しなかった	先に、トイレブースに入った女性が、「ここでトイレをするのは難しい」と言って出てきたので、それを見てやめました。自分でためしてないので、どこがどう難しかったのかはわかりません。
	中に虫（コマバエ？）がたくさんいて入れなかった。
	使用しなかったのが、我慢しました。持参して帰る事に、抵抗がありますので、その点を改善してほしいです。
	水分補給により、トイレの回数が多くなるので、何か所もあるとよい。
	抵抗があり、極力水分を控えた。袋を持っている方々の出入りを見て、益々やめようと思った。
設置されていることを知らなかった	安心できるので継続してほしい。
	排泄物の持ち歩きに抵抗感強い、また女性にとってはなおさら苦痛だろうと思う。やはりきちんとした設備が欲しい。使用料が高くてよい。
	緊急用として必要。
	出発する前、レクチャー後そのような施設がある事を伝えていただきたい。あと場所もおしえて下さい。

(2) 利用時における混雑度の印象 [SA]

- 西大台利用調整地区のルート歩いた際の混雑感については、「利用者の数は適当だと思った」(65.1%) が最多であった。

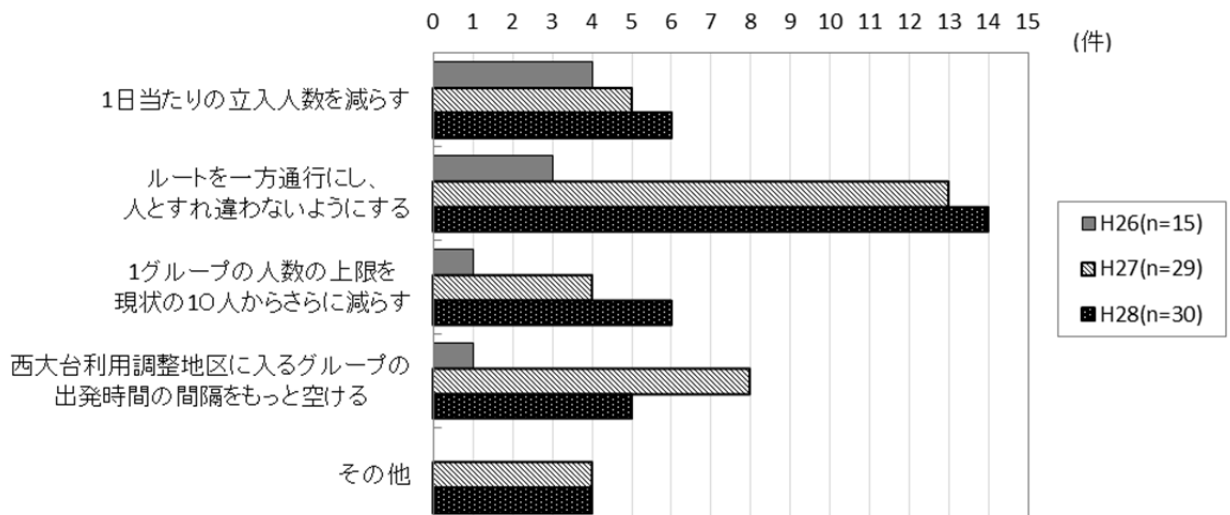
図表 43 利用時における混雑度の印象



(3) 混雑対策に対する意見 [SA]

- 次いで「利用者の数が多すぎると感じた」あるいは「やや利用者が多いと思った」と回答した利用者 (n=30) を対象に、混雑を感じないようにするための対策を尋ねたところ、「ルートを一方通行にし、人とすれ違わないようにする」が最多であった (14 件)。

図表 44 混雑対策



(4) 西大台利用調整地区の利用時に期待していたもの及び感想 [FA]

- ・西大台利用調整地区への来訪にあたり、何に期待して来られたか、感想として期待どおりだったのかどうか、それぞれ自由記述で尋ねた。どちらか一方でも記入があった内容を以下の表にまとめた。期待していたものは「自然」が最も多く（201 件）、「景色、景観」（148 件）、「コケ」（90 件）と続いた。感想は「良かった、満足」（395 件）、「期待以上、期待どおり」（308 件）が多いが、「期待と違った、残念」（163 件）との意見も一定数みられた。

図表 45 期待していたものと感想（実数）

順位	期待していたもの	感想							計
		待どおり 期待以上、期	良かった、満足	まずまず	残念 期待と違った、	両評価	その他感想	記載なし	
1	自然	74	69	3	19	10	11	15	201
2	景色、景観	45	51	4	27	8	4	9	148
3	コケ	25	29		15	12	3	6	90
4	原生的な・手つかずの自然	28	34	1	12	4	3	5	87
5	紅葉	12	28		25	12	1	2	80
6	森林浴、自然散策	16	24		8	5	2	8	63
7	原生林	12	23		9	6	4	1	55
8	登山、トレッキング	16	27	1	2	3	1	3	53
9	利用調整への興味	15	21		2	6	4	2	50
10	静けさ、人の少なさ	21	14		2	6	2	1	46
11	植生、植物、樹木	6	10	1	10	5	2	6	40
12	東大台との違い	9	13		1	4	1	3	31
13	神秘的・幻想的な雰囲気	6	5		6	2	1		20
14	動植物、生物	5	4		7			1	17
14	気分転換、癒し	7	6		1	2		1	17
16	動物(シカ、ウサギなど)	1	1		7	1		3	13
17	ブナ林	4			1	2			7
18	野鳥	1	2	1	1	1			6
－	その他	2	20		5	1	5	6	39
－	記載なし	3	14		3	3	2		25
計		308	395	11	163	93	46	72	1088

図表 46 期待していたものと感想に関する自由記述（抜粋）

評価	項目	期待したもの	感想
期待以上、期待どおり	自然	自然の雄大さ。	期待以上の感動と過酷さがありました。
		大台ヶ原の自然。	期待どおり、自然が守られていた。今度は雨の日に来たい。
	景色、景観	自然の景観	期待以上に美しかった。苔の群生が特に。
		・自然の豊かな景観。・おいしい空気。	・くもり空だったのですが、静かで人も少なく落ち着いて散策できたので期待どおりでした。
	コケ	コケの探索の為と自然探索。	十分期待通りでそれ以上だった。コケが思った以上に多かった。
	原生的な・手つかずの自然	原生的で豊かな自然を楽しむため。	期待どおりだった。静寂で自然の豊かさを感じることが出来た。
	紅葉	紅葉を期待して来ました。	期待どおりではなく期待以上のものになりました。原生林や紅葉やふだん目の届かない自然の発見があり、本当に貴重な場所にいるんだと感動と感謝の気持ちでいっぱいになりました。
	森林浴、自然散策	中に入ったら気持ち良いだろうという期待。	期待通り、気持ち良かった。ぶな林がうれしかった。森の中に居るという感覚が良かった。
	原生林	原生林に近い状態で保全されている森の散策。	様々な場所を見てきたが、これほど湿潤で豊かな森の生態系が維持されているところは、めずらしい。期待どおりだった。
	登山、トレッキング	豊かな自然が残されていて、気持ちの良いトレッキングが出来ること。	素晴らしい緑と景観、美しい水と空気など期待どおりの散策・トレッキングができて大変満足している。
	利用調整地区への興味	利用調整区域に指定されている中での自然や生物の生態を見てみたいと参加しました。	東大台とは全く異なる自然環境におどろくとともに自然を守るために利用調整地区になっていることを改めて感じさせられ、期待どおりでした。
	静けさ、人の少なさ	自然のままの森の中を限られた人数しか入れないのでゆっくり回れることを期待していました。	想像以上にとてもいい状態で苔も沢山あって、とても癒される森の中をゆっくり歩いて、ほんとうに良かったです。なかなか見れない植物も見れました。何年も経って、森がゆっくりと変わっていくところが見れた感じがしました。非日常的な空間がとても良かったです。
	植生、植物、樹木	自然を満喫して、色々な植物(特に広葉樹、針葉樹)を見たかった。	期待以上に美しく、コケのきれいさ、また、開拓跡を過ぎて、川を渡った先の、兩岸の樹木の美しさが最高であった。
	東大台との違い	東大台と違う印象の、しっとりとした森林の魅力。	期待どおりだった。思っていた以上にバラエティに富んでいて、水場や苔、森林と表情が変わり、ゆったりと景色と、森林浴を楽しめた。ポイントの水色の目印が心強かった。
	神秘的・幻想的な雰囲気	幽玄の世界を期待して	期待どおり。人の出会いはなく、苔むした景色。
	気分転換、癒し	自然。リフレッシュ。無心になれる場。	期待以上に、良かったです。あの“苔”がほんとうに美しく、マイナスイオンたっぷりの中をウォーキングし、自然の素晴らしさを実感しました。大切に守っていかねばならないことも納得です!!
	ブナ林	ブナの自然林	期待通りだった。木漏れ日もきれいだった。

図表 46 期待していたものと感想に関する自由記述（抜粋）（続き）

評価	項目	期待したもの	感想
良かった、満足	自然	自然	素晴らしかった。植物・動物観察も出来、自然を満喫出来た。
		自然のすばらしさ。	たいへん満足した。木々やコケ、空気、水、石、全体に満足した。
	景色、景観	風景	何度か経験しているが、その都度ちがう風景に出会える。
	コケ	苔を見るため。	美しかったです。前日に東大台ヶ原をまわって、ほとんどなかったのが、がっかりした後だったので、とても良かったです。
	原生的な・手つかずの自然	自然がそのまま残っている姿を期待していた。	西大台に流れている川を石づたいに気を付けて足を置く位置を考えたりして渡った時、人間の為に工夫したものを設置しないのが良いなあと思った。
	紅葉	秋には少し早いとは思いましたが、秋色を感じることができるかなと思いました。	深い緑と、所々に見えた紅がきれいでした。
	原生林	苔むした原生林を見たいと思い来ました。	小雨の中、霧に包まれた原生林はすばらしかったです。
	登山、トレッキング	東大台だけだと物足りなかったのも、トータル登山タイムを増やそうと思って来ました。	晴天に恵まれたのもあり、めちゃ良かったです！！木・川・全てが美しかったです。気持ちよい山行でした。
	利用調整地区への興味	利用調整が始まって 10 年弱でどのような効果や課題があったのか知りたかった。	環境へのインパクトを軽減させるために必要な対策と思っていたので、その効果はあったと感じた。他にも人のいないなかで森を観察できるぜいたくを感じた。
		自然のありのままを感じることができること。事前に申請をしないと入れないところに特別なものを感じました。	これまで登った山とは雰囲気異なり静かで心が休まる経験ができたから。
	静けさ、人の少なさ	野鳥観察と登山を趣味にしているが、平日で静寂さを感じながら散歩できることに期待した。	人が少なく、野鳥の声もよく聞こえたから。
	植生、植物、樹木	植物や風景	様々な植物が見れ、満足した。
	東大台との違い	東ルートと違った西大台ルートを歩いてみたかった。	苔むして淘汰されていく大木や、沢づたいの道、そこに生息する魚たちが見られて、楽しかった。他の山と違い、野性的、かつ神秘的な大台ヶ原は好きです。
	神秘的・幻想的な雰囲気	一番神秘的な印象をもっている場所です。その空気、景色を味わいたかった。	ガスっていて見えなかったが、晴れ間がのぞいたときとてもきれいでした。
	動植物、生物	生物の多様性が残る自然の姿を求めて。	樹木の種類の多様性に感動しました。
	気分転換、癒し	・気分のリフレッシュ。・適度な運動。	落葉に道が覆われていて、歩くのがとても楽しかったです。
まずまず	景色、景観	他では見られない風景・自然	まずまず。
	原生的な・手つかずの自然	・ありのままの自然（？）・動植物との出会い・静かな山歩き	まあまあと思います。（動物にはあまり出会わなかったです。）

図表 46 期待していたものと感想に関する自由記述（抜粋）（続き）

評価	項目	期待したもの	感想
期待と違った、残念	自然	大自然を楽しみたかった。	もっと自然が多いかなと思っていたが少し少なかったかな。トイレをもっと使用しやすいようにしてほしい。事前説明等。
	景色、景観	自然観賞。	もっとうっそうとした森かと思った・・。
		・自然の美しさ・植物・鳥	同じ様な場所が多く少し単調だった。
	コケ	コケの群生	以前よりへっている感じ。
	原生的な・手つかずの自然	手つかずの自然に出会う為。	もう少し道迷いが出るような大自然を想像していましたが、割と道は整備され、バリエーションルートを通るようなイメージとは違っていました。
	紅葉	紅葉	少し不満。 もっと紅葉を期待していた。
	森林浴、自然散策	雨の多い緑豊かな自然の森の中を歩くのを楽しみに来ました。	もっと深い森を想像していたが思った以上に開けた感じで変化に乏しい林な気がした。これからもどんどん自然に戻って行って欲しい。今日の私達も又西大台を荒らしたのかとも思う。
	原生林	自然美、原生林。	原生林というほどではなかった。
	利用調整地区への興味	立入制限するからには、きっと、すばらしい所なんだろうと思っていました。モスフォレスト。	森の再生のための立入制限であって、まだ再生途上なんだろうなと思いました。期待が大きすぎました。けどそれも見せ方の問題だと思うので、もっと人数制限するのもアリかもしれません(希少価値)。
	植生、植物、樹木	植物の観察。	大草がシカの被害で荒れているので、うるおいのある森の感じがとばしいと思いました。
	神秘的・幻想的な雰囲気	密境・秘境のイメージで来ました。	山の中が、案外荒れているのだと思った。倒木、鹿からの被害が大きく影響しているのだと知り、自然を守るのも大変な仕事だと思う。皆様、ご苦労様です。
		神秘的な人が立ち入らない場所、自然がどんな所かみたかった。	眺望できる所があまりなかったのも、高い山に登っている感覚があまりなかった。フェンスがあるのが違和感があった。
両評価	動植物、生物	オオダイガハラサンショウウオを見たかった。	期待どおりでなかった。もっとゆっくり時間がある時にさがしてみたい。
		動植物や風景を期待していました。	石しか記憶にありません。ガイドさんにもよるでしょうが、ひたすら歩いただけで、途中何の説明もなかったのも、思い出がありません。
	自然	高山帯の自然。	雨が少ない時期が続いたせいか、少し期待はずれもあったが、全体によかった。
	景色・景観	100名山の美しい景色を期待して。	景色は良かったが、道が物足りなかった。
	原生林	・原生林にふれる事 ・自然を感じる事	満足したが、もう少し動物が出てきてほしかった。
	利用調整地区への興味	入山規制をしている山は、他と何か違いはあるか、魅力はあるか、来訪(時間をかけてまで)して良かったと思われる山・自然であってほしい。私の山仲間で、日出ヶ岳に来た人は、何人もいるが、西大台に来た人は誰もいなかったのも、どんな所か是非知りたかった。	原生林、という事で、樹林の中は、うっそうとしていたと思っていたが、陽が入らないのか、雑木、下笹はなく、見通しが良く、管理された公園?のように感じた。本日は、入山者が少なく、アップダウンもそうなく静かな森林浴を楽しんだ。
	静けさ、人の少なさ	静かな環境とすばらしい自然。	人も少なく期待どおりだった。ただ、展望台からは雲が多く見晴らしがよくなかった。
	植生、植物、樹木	自然、動植物	植物はあまりわからなかった。(晴れていたのも)コケがキレイでした。

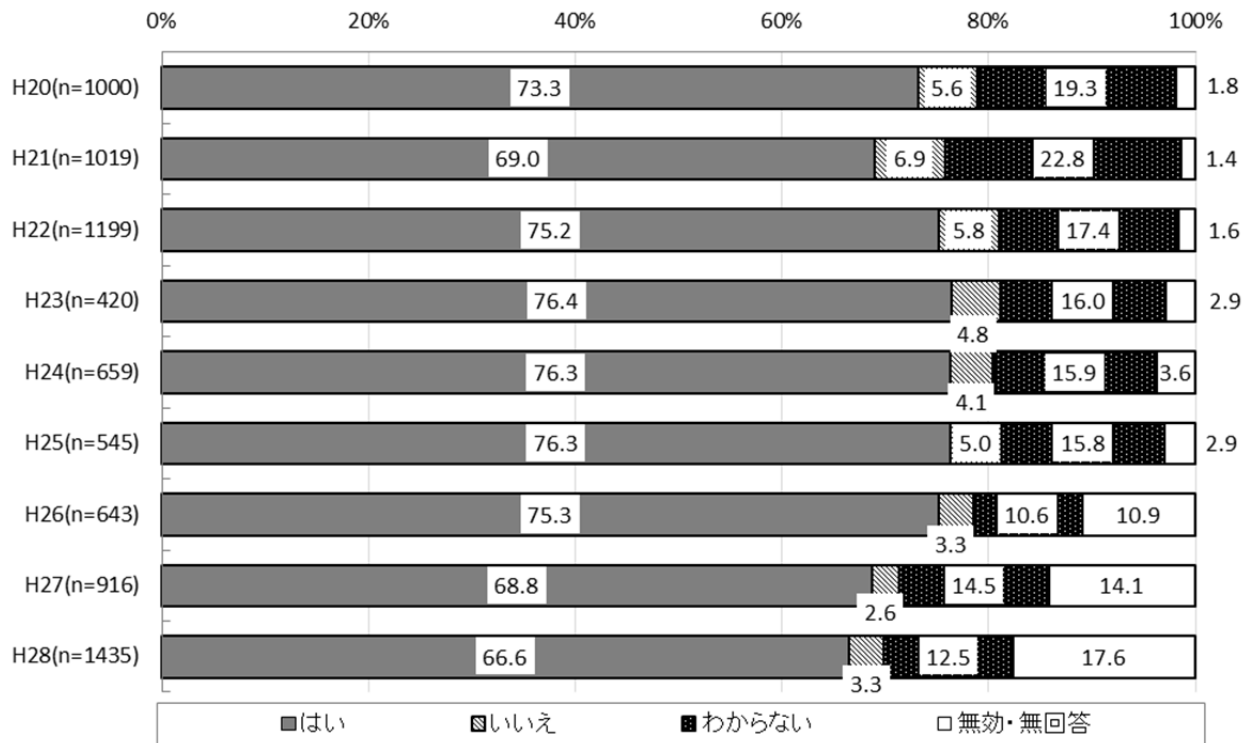
図表 46 期待していたものと感想に関する自由記述（抜粋）（続き）

評価	項目	期待したもの	感想
	東大台との違い	東大台は知っていたので西大台を知りたかった。静かで良いと聞いていたのだ。	期待どおりだったが、もう少し手が入っていない方が自然だったと思う。
その他感想	自然	自然に触れ合う為	整備されていた。
	原生的な・手つかずの自然	手つかずの自然が残されていること。保護が他の国立公園と異なっていること。	自然林がいかに大切か、又保存も合わせて手を入れていくことの大切さが解った。
	利用調整への興味	自然保全の状況。 東大台とは異なり、調整地区として保全活動を実施していることで、自然の復元状況を見てみたかった。	時間はかかるものの、少しずつではあるが状況が改善していることが見てとれました。
	東大台との違い	東大台とのちがいを感じたかった。	ちがうことは、よくわかった。し、一般観光向きではないと実感できた。
なし記載	その他	有名な場所なので一度は行きたいと思っていました。	—

(5) 西大台利用調整地区の再訪意志 [SA]

- ・平成 28 年度利用者において、西大台利用調整地区への再訪の意志を尋ねたところ、「はい」(66.6%) が最多であった。

図表 47 西大台利用調整地区への再訪の意向

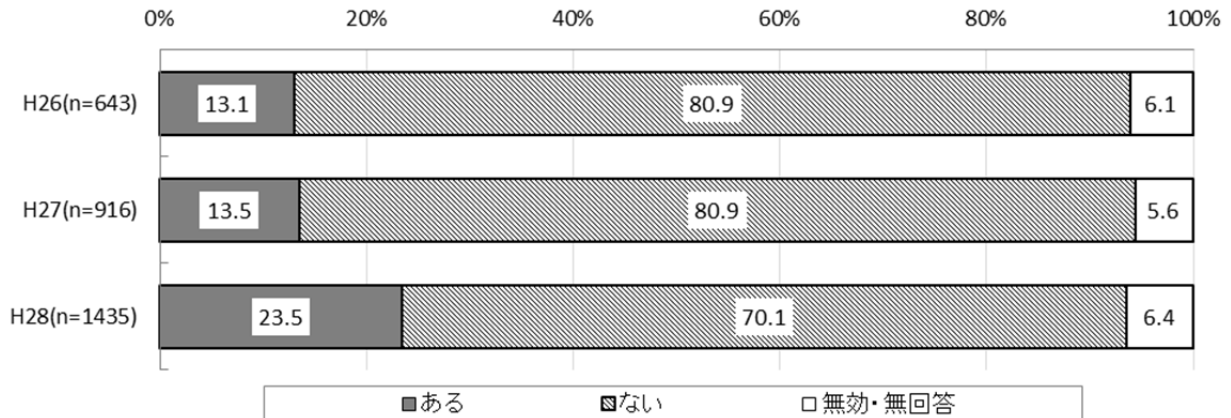


6. ガイド利用について

(1) ガイド利用の経験の有無 [SA]

- ・平成 28 年度利用者において、今回も含めて、大台ヶ原でガイド付きの山歩きをした経験について尋ねたところ、利用したことが「ない」が 70.1%を占め、「ある」は 23.5%であった。
- ・大台ヶ原でのガイド付きの山歩きの経験者は、平成 27 年度から大きく増加した。

図表 48 ガイド付きの山歩き・登山の経験



- ・大台ヶ原でガイドを利用したことがない理由については、「一人で・自分のペースで歩きたい」(18.2%) が最も多く、「知らなかった」(15.8%)、「グループ・家族で楽しみたい」「必要ない」(ともに 5.1%) と続いた。

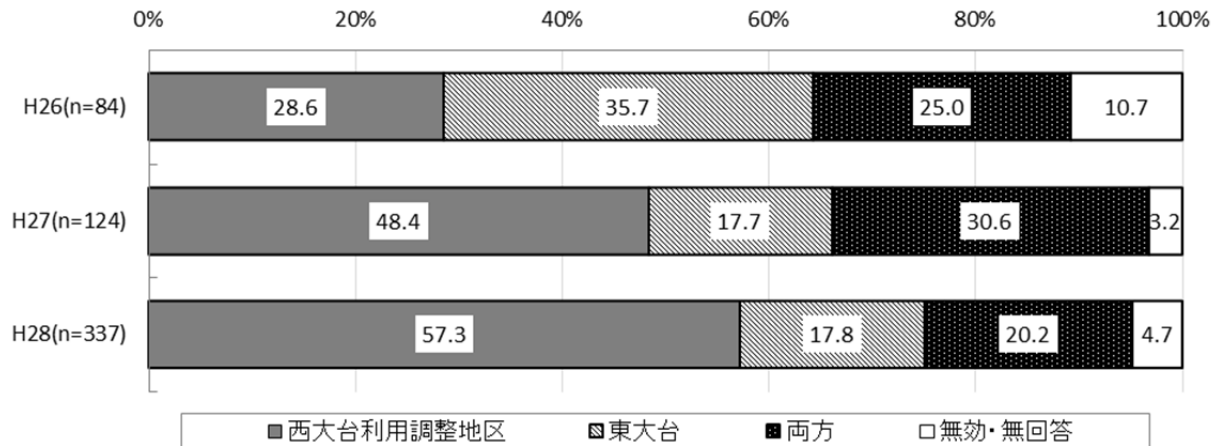
図表 49 ガイドを利用したことがない理由

No.	カテゴリ	実数	%
1	1人で・自分のペースで歩きたい	183	18.2
2	知らなかった	159	15.8
3	グループ・家族で楽しみたい	51	5.1
3	必要ない	51	5.1
5	機会がなかった	33	3.3
6	初めて来た	32	3.2
7	料金が低い	27	2.7
8	同行者に知識のある人がいる	25	2.5
9	自分に知識・経験がある	11	1.1
9	特に理由はない	11	1.1
	その他	55	5.5
	無回答	368	36.6
	計	1006	

(2) ガイド利用時に訪問した場所 [SA]

- ・大台ヶ原でのガイド利用経験のある方に利用場所を尋ねたところ、平成 28 年度利用者については「西大台利用調整地区」(57.3%) が最多となり、次いで「両方」(20.2%)、「東大台」(17.8%) であった。
- ・「西大台利用調整地区」での利用経験者の割合は、平成 26 年度からの 3 ヶ年で増加傾向がみられた。

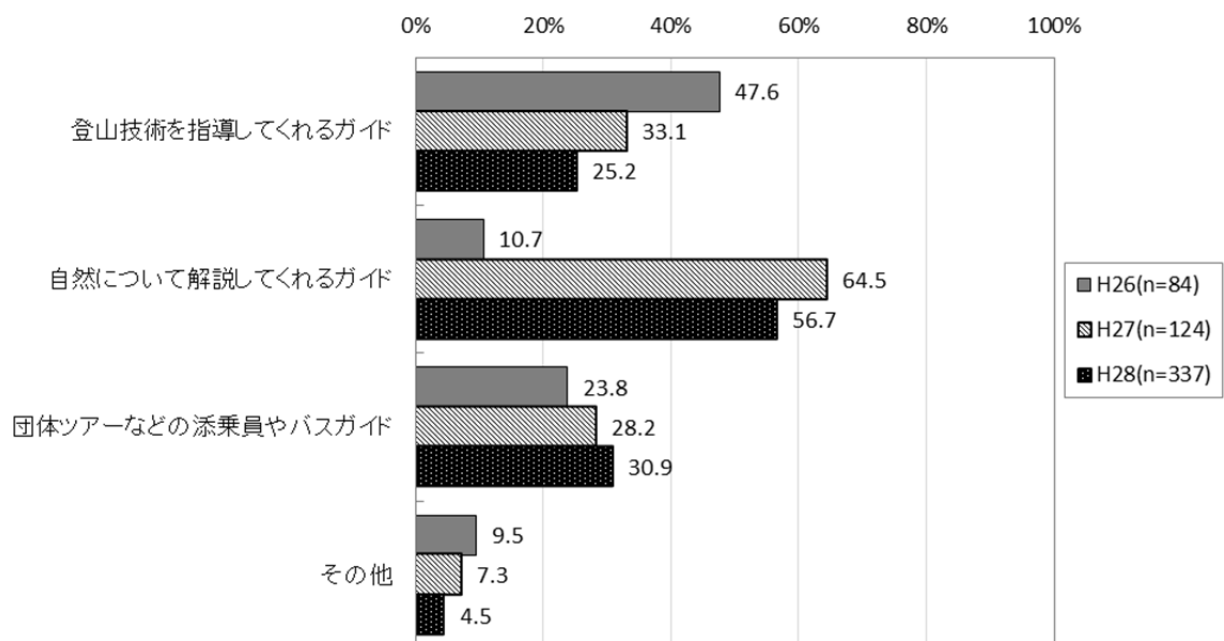
図表 50 ガイド付きの山歩き・登山をした場所



(3) ガイド利用時のガイド内容 [MA]

- ・平成 28 年度利用者において、大台ヶ原でガイドを利用した際のその内容は、「自然について解説してくれるガイド」(56.7%) が最多となり、次いで「団体ツアーなどのバスガイド」(30.9%)、「登山技術を指導してくれるガイド」(25.2%) であった。
- ・平成 26 年度からの 3 ヶ年で、「登山技術を指導してくれるガイド」は減少し、「団体ツアーなどのバスガイド」は増加する傾向がみられた。

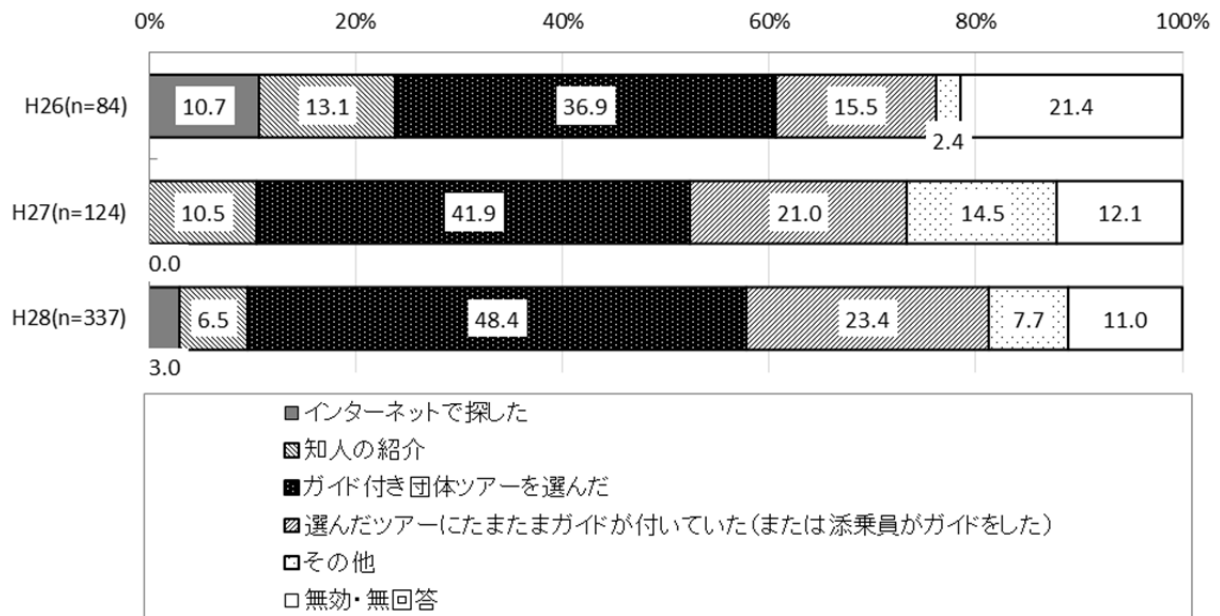
図表 51 ガイドの内容



(4) ガイドを選んだ経緯 [SA]

- ・大台ヶ原でガイド利用経験のある平成 28 年度利用者が、そのガイドを選んだ経緯については、「ガイド付き団体ツアーを選んだ」(48.4%) が最多であった。
- ・「ガイド付き団体ツアーを選んだ」は平成 26 年度からの 3 ヶ年で増加傾向がみられた。

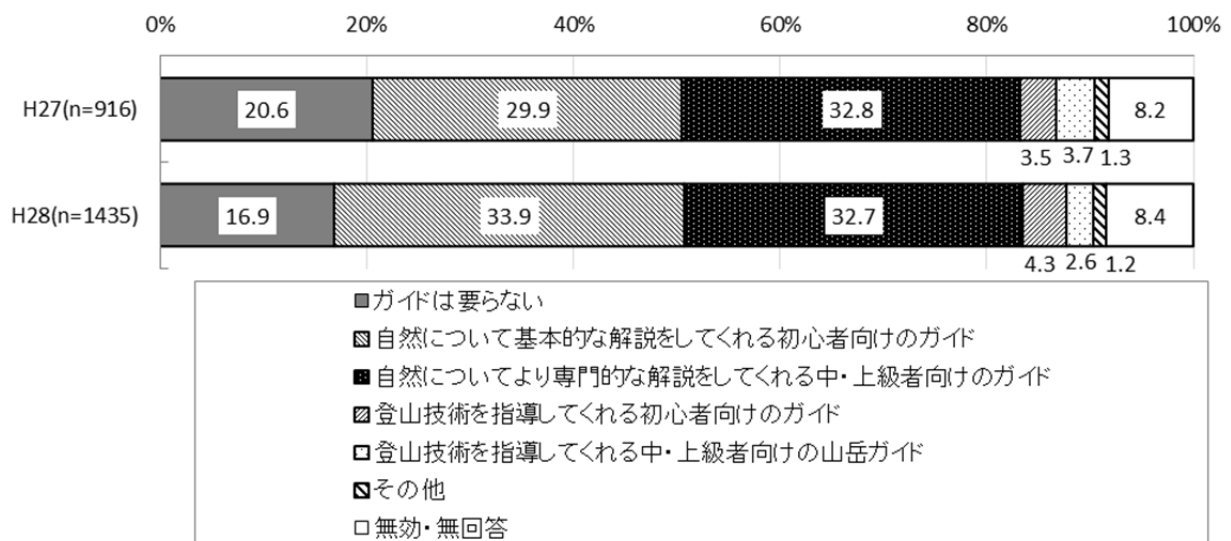
図表 52 ガイドを選んだ経緯



(5) 希望するガイド [SA]

- ・大台ヶ原でガイドを利用するとした場合に、平成 28 年度利用者が希望するガイドは「自然について基本的な解説をしてくれる初心者向けのガイド」(33.9%)、「自然についてより専門的な解説をしてくれる中・上級者向けのガイド」(32.7%) で 6 割以上を占めた。一方で「ガイドは要らない」とする利用者は 16.9% であった。

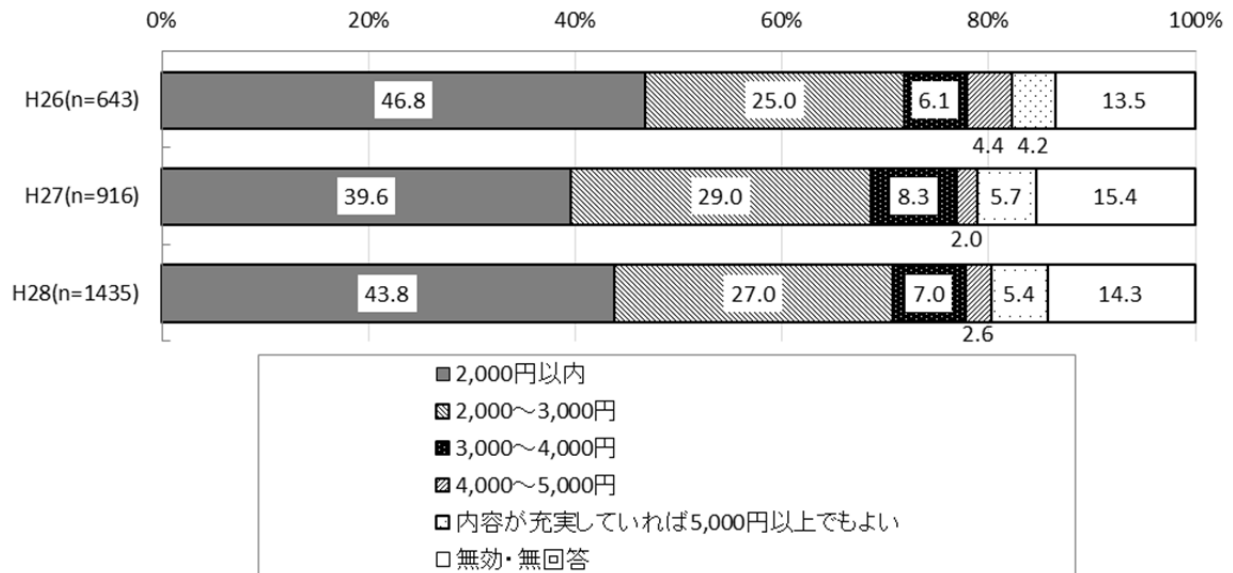
図表 53 希望するガイド (大台ヶ原で利用する場合)



(6) 支払可能なガイド料金 [SA]

- ・大台ヶ原でガイドを利用するとした場合に、利用者一人当たり支払ってもよいガイド料金を尋ねたところ、平成 28 年度利用者は「2,000 円以内」(43.8%) が最多となり、次いで「2,000 円～3,000 円」(27.0%) であった。一方、「内容が充実していれば 5,000 円以上でもよい」は 5.4% であった。

図表 54 支払ってもよいガイド料金（大台ヶ原でガイドを利用する場合）



IV. おわりに

本調査では、大台ヶ原の利用動向に関する分析ならびに西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施を通じて、大台ヶ原の利用状況に関する基礎的なデータ等の収集・分析を行った。

各実施結果の概要は次の通りである。本結果をもとに大台ヶ原の利用方法について検討され、自然再生に取り組む大台ヶ原への適切な理解と利用が促進されることが期待される。

1. 大台ヶ原の利用動向に関する分析 結果概要

① 大台ヶ原の利用動向

・平成 28 年の大台ヶ原の利用者数は 94,393 人で前年に比べ 12%減少している。利用者は 4 月から 7 月までは前年より多く、8 月は横ばいであった。9 月と 10 月に発生した台風 16 号や 18 号、またそれに伴う大雨の影響で休日の天候が悪く、9 月の利用者が半減したことが原因であると考えられる。

・月別の利用者のピークは 5 月と 10 月で例年と変化はみられなかったが、10 月については前年の 60%に留まった。台風などによる天候不良が響いたとみられる。11 月は前年を上回っている。

・大台ヶ原への路線バスの乗客数は前年と比較するとやや減少したが、平成 26 年からは横ばいで推移している。

② 西大台の利用動向

・利用調整地区制度の運用開始以降、認定者数および入山者数は増加傾向にあり、平成 28 年の認定者数は過去最多、入山者数は前年と比較して横ばいであった。

・西大台の利用状況については、入山日が予約制であることから、大台ヶ原ほど入山者数が天候に左右されることはないようだが、平成 28 年 9 月は台風や大雨の影響を受け、前年の約 60%となった。

2. 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施 結果概要

① 全般

・利用者属性は高年齢層が増加した。登山・トレッキング経験者が大半を占めたためか、登山目的で訪れるケースが増えた。また、旅行会社ツアー参加が大幅に増加した。

・ビジターセンターへの評価は引き続き高く、レクチャーや冊子への不満は少ない。要望としてはレクチャー開始時間への意見が散見された。

・利用調整地区制度の認知は前年度よりやや増加している。利用前の期待からの評価としては、一定層の不満も見られたが、概ね満足されており、再訪意向は 7 割近くで前年度と同様であった。

② 携帯トイレブースに対する評価

・利用率は 7 割、そのうち 9 割が満足と、携帯トイレブースに対する評価は高い。理由は「使いやすい」「設置場所がよい」「衛生的」などがあげられた。不満としては、「狭い」「説明がわかりにくい」などがあげられた。

・利用しなかった理由は「必要としなかった」が多数を占めた。「利用しなかった」人の理由としては、「利用法が難しそうだった」「持って帰るのに抵抗があった」などがあげられた。

③ ガイド制に対する意見

・ガイド経験者は増加傾向がみられたが、未経験者が 7 割の多数を占める。利用しない理由としては、自分のペースで、グループだけで歩きたい、との意見が多く見られた。一方「知らなかった」との声も多い。ガイド利用経験場所は西大台の方で多いことから、西大台のガイド利用については周知方法など検討する余地があると言える。

・利用する場合は「自然についての解説をする」、2000 円以内の料金でのガイドが多く望まれている。

3. 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施 来期への提案

- ・ I－5 「来訪回数」について

初めて＝0、は分かりづらいのではないかとと思われる。変更案としては、選択肢に「初めて」をつくり、再来の方に回数を記入いただく、等が考えられる。

- ・ IV－2－1 「混雑さ」について

人数の記入は「2、3人」などと表記が揃わないことが多いので、選択肢にすることを検討されたい。その際、「利用者の数は適当」とした方については問題ないので、「利用者の数が多い」とした方にのみ人数を答えていただく、とした方が回答者の負担軽減になるかと思われる。

- ・ IV－3 「期待」と「評価」自由回答について

現状の形式での自由回答では、回答者の書き方により、その内容の整合性がわかりにくくなる傾向がみられた（例：自然を期待した→動物が見られなくて残念、等）。「期待していたもの」は過去の回答内容から大方予想できる範囲であり、選択肢設問に変更したとしても、イレギュラーな回答は「その他」での自由回答で得られる。利用した結果については、「評価」（期待したとおりだったか）は選択肢で段階を設定すれば、より明確な情報が得られるので、「評価の理由」のみを自由回答にすることで、分析も容易になり、回答者も記入しやすいと思われる。

- ・ 回収について

今回の回収率が高かったのはノベルティがあったからだと思われる。安定した回収数を確保するために、次回も同様の対策を検討していただきたい。

- ・ その他

今回の意見聴取用紙はA3用紙両面に印刷し、2つ折りで配布した。回収した意見聴取用紙の中には中面全部が白紙のものが見受けられた。次回も質問数が大きく変わらないのであれば、扱いやすさから同様にA3用紙両面印刷が適当と思われるので、意見聴取用紙の表面、下部に注意書きするか（中面へ続く、等）、配布する際にお声がけする等の配慮があった方がよい。

V. 参考資料

1. 西大台利用調整地区の利用に関する意見聴取票

西大台利用調整地区の利用に関する意見聴取用紙

別紙 1

入山日時：2016 年 月 日 時頃から 時頃まで

I 基本的なことをお聞きします。該当するものに○をつけてください。

I-1 利用者情報など	性別：①男 ②女	年齢
	居住地（都道府県）：（ ）	①10才未満 ②10代 ③20代 ④30代
	（海外）：（ ）	⑤40代 ⑥50代 ⑦60代 ⑧70才以上
	登山経験：①引率者なしの登山・トレッキング ②引率者付き登山・トレッキングのみ ③里山の散策程度 ④ほとんどない	
来訪目的：西大台利用調整地区に来られた主な来訪目的を、1つだけ答えてください。 ①登山・散策 ②写真撮影 ③生物の観察 ④風景鑑賞 ⑤その他（ ）		
I-2 来訪を決めた時期	西大台利用調整地区の利用をどれ位前に決められましたか。1つだけお答えください。 ①本日～2週間前 ②2週間～1か月前 ③1か月～3か月前 ④3か月以上前	
I-3 団体ツアー・個人の別	今回のあなたの来訪形態について、1つだけお答えください。 ①旅行会社主催のツアー（主催者名を具体的に： ） ②登山や自然観察のガイドツアー（主催者名を具体的に： ） ③個人・グループ（計 人） ④その他（ ）	
I-4 行程	今回、どのような行程で大台ヶ原に来られましたか。1つだけお答えください。 ①日帰り ②宿泊を伴う行程（宿泊場所： ）	
I-5 来訪回数	これまでに大台ヶ原に来た回数 （ ）回※初めての場合は「0」です。	うち西大台地区に来た回数 （ ）回※初めての場合は「0」です。

II ビジターセンターで受けたレクチャーについてお聞きします。

II-1	レクチャーの受講日： 月 日
II-2 長さ	あなたは、レクチャーの時間の長さについて、どのように感じましたか。この中から1つだけお答えください。 ①長い ②ちょうどよい ③短い
II-3 内容	あなたは、レクチャー内容について、どのように感じましたか。この中から1つだけ選んでください。 ①満足 ②普通 ③不満
II-4 配布冊子	配布した冊子「西大台利用調整地区ガイド」の内容について、どのように感じましたか。 ①満足 ②普通 ③不満
II-5 不満の理由等	上記のII-3、II-4で「不満」と答えた方は、不満な点、改善すべき点などを、具体的にお書きください。
II-6 その他ご意見	レクチャーの時間割（開始時刻など）について、ご意見等あればお書きください。

Ⅲ－１－１ あなたは、「西大台利用調整地区」の制度（事前に立入の申請が必要など）についてご存知でしたか。この中から１つだけお答えください。

①内容を知っていた	②内容は知らなかったが、聞いたことはあった
③聞いたこともなかった	④わからない

Ⅲ－１－２ あなたは、「西大台利用調整地区」の制度をどの程度ご存じでしたか。この中からいくつかもあげてください。

- Ⅲ-2 あなたは、「西大台利用調整地区」の制度（事前に立ち入りの申請が必要など）について、何で知りましたか。この中からいくつでもあげてください。
- ①新聞・テレビ ②登山関係の出版物 ③環境省ホームページ ④インターネット情報（環境省ホームページを除く） ⑤人に聞いた ⑥ポスター等 ⑦大台ヶ原ビジターセンター（レクチャー含む） ⑧以前から知っていた。⑨その他（ ）

IV-1 あなたは、今回の訪問で西大台利用調整地区（開拓跡）の携帯用トイレブース（携帯用トイレを使用するための目隠しスペース）を利用しましたか。この中から1つだけお答えください。

①利用した。 ②利用しなかった。

「①利用した」方にお聞きます。利用した感想はいかがでしたか。

ア 満足した。 イ やや不満 ウ 大変不満

その利用を具体的に教えてください。

「②利用しなかった」方にお聞きます。この中から1つだけお答えください。

ア ブースのことは知っていたが必要としなかった。イ 知っていたが使用したくなかった。

ウ 設置されていることを知らなかった。

ご意見があればご記入ください。

①利用者の数が多すぎると感じた。→ 概ね何人の人に出会ってそう感じましたか(人)
②やや利用者が多いと思った。→ 概ね何人の人に出会ってそう感じましたか(人)
③利用者の数は適当だと思った。→ 概ね何人の人に出会ってそう感じましたか(人)
④その他具体的に:()

IV-2-2 あなたは、西大台利用調整地区のルート上で混雑を感じないようにするためにどのようにすれば良いとお考えですか。この中からいくつでもあげてください。

- IV-3 あなたは、今回、何を期待して西大台利用調整地区に来られましたか。
具体的に記入してください。

$$[\quad]$$
$$\left[\begin{array}{c} \\ \\ \\ \\ \\ \end{array} \right]$$

①はい ②いいえ ③わからない

V 西大台では、大台ヶ原の自然・文化等を解説したり、自然環境に配慮しながら安全に案内してもらえる「ガイド付きの立入り」が推奨されています。ガイド利用についてご意見等をお聞かせください。

V-1 今回も含め、あなたはこれまでに大台ヶ原でガイド付きの山歩きや登山をしたことがありますか。

- ① ある ② ない（理由を聞かせてください：例えば料金が安いから、一人で歩きたいからなど）

[]

「①ある」を選んだ方のみ

V-1-1 上の質問で「ある」と答えた方にお聞きします。西大台利用調整地区、東大台地区のどちらでガイド付きの山歩きや登山をされましたか。

- ① 西大台利用調整地区 ② 東大台地区 ③ 両方（①と②）

V-1-2 また、その際のガイドについて以下からあてはまるものをすべて選んでください。

- ① 登山技術を指導してくれるガイド ② 自然について解説してくれるガイド
③ 団体ツアーなどの添乗員やバスガイド
④ その他
（具体的に： _____ ）

V-1-3 ガイドを選ばれた経緯を以下からあてはまるものを選んでください。

- ① インターネットで探した ② 知人の紹介
③ ガイド付き団体ツアーを選んだ
④ 選んだツアーにたまたまガイドが付いていた（または添乗員がガイドをした）
⑤ その他（具体的に _____ ）

V-2 あなたは、大台ヶ原でガイドを利用するとすれば、どのようなガイドを希望されますか。

この中から1つだけ選んでください。

- ① ガイドは要らない
② 自然について基本的な解説をしてくれる初心者向けのガイド
③ 自然についてより専門的な解説をしてくれる中・上級者向けのガイド
④ 登山技術を指導してくれる初心者向けの山岳ガイド ⑤ 登山技術を指導してくれる中・上級者向けの山岳ガイド ⑥ その他（具体的に： _____ ）

V-3 大台ヶ原でガイドを利用するとした場合、ガイド料金を利用者一人当たり何円までなら支払ってもよいとお考えになりますか。この中から1つだけお答えください。

- ① 2,000円以内 ② 2,000～3,000円 ③ 3,000～4,000円 ④ 4,000～5,000円
⑤ 内容が充実していれば5,000円以上でもよい

VI 西大台利用調整地区全般についてのご意見・ご要望等をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。当用紙は大台ヶ原ビジターセンターの回収箱に投函していただくかお渡しした封筒で後日郵送してください。（切手は不要です）

近畿地方環境事務所請負業務

平成 28 年度大台ヶ原の利用対策に関する調査業務 報告書

平成 29 年 3 月 発行

業務発注者 **近畿地方環境事務所**

大阪府大阪市中央区大手前1丁目7番 31 号
大阪マーチャンダイズマート(OMM)ビル8階
Tel. 06-4792-0706

業務請負者 **株式会社フォーラム K**

大阪府大阪市北区西天満4丁目9番 15 号
Tel. 06-6363-5033

本報告書の内容を許可なく複製・転載することを禁じます。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。